

令和7年度 新入学生徒用
品川区立中学校・義務教育学校

学 校 案 内



品川区教育委員会

来春中学校・義務教育学校に入学するお子様の保護者の皆様へ

品川区の学校教育に対し、温かなご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

来年4月から、お子様は6年間の小学校および義務教育学校前期課程を修了され、中学生になります。区では独自の9年間を見通した一貫教育により、9校の中学校と6校の義務教育学校において、来年からお子様の3年間の学校生活を支えてまいります。

本区では、平成11年度から様々な教育改革に取り組んでおり、その一つが学校選択制です。学校選択制により各学校が切磋琢磨しながら特色ある教育活動を展開することで、開かれた学校づくりの推進や「子どもに適した教育を受けさせたい」という保護者の皆様の願いに応えることができます。同時に、それぞれの学校では、地域行事への参加や防災訓練の合同実施など、地域とのつながりをより深められるよう、取り組んでいます。

教育改革は、次に示す三つの柱で目指す教育です。第一に品川コミュニティ・スクールの実施により、学校の主体性を高め、地域との協働による特色づくりを行う地域とともにある学校づくり、第二に小学校・中学校・義務教育学校の異なる学校種の間で、学校の特色や個々の可能性を高める三校種体制における学校教育の推進、第三にこれからの時代を生き抜く児童・生徒を育成する9年間の一貫したカリキュラムの実現です。この複雑化・多様化する時代を生き抜き、SDGsに関連した課題を解決することができる、「未来を切り拓く力」をもった児童・生徒を育成します。

7年生の学校選択制は、区内すべての中学校・義務教育学校後期課程を希望選択することができます。区では、小学校・中学校・義務教育学校の通学区域を一致させることにより、どの学校を選択していただいても円滑な連携を実施しながら一貫した教育を受けられるようになっております。この学校案内では、各学校の情報のほか、学校選択制度の内容について、細かく記載しております。学校選択にあたっては、本冊子とともに、各学校で作成しているホームページなどもご参考に、是非学校公開や説明会にご参加いただき、実際に学校生活の様子をご覧いただきたいと考えております。学校説明会については、説明会の日程や参加者の制限等の可能性がありますので、あらかじめ学校ホームページ等でご確認ください。

学校選択を検討される際には、地域と学校との日常的なつながりやお子様の通学の安全確保、災害時の対応なども考慮し、ご家庭で十分にご相談のうえご判断いただきますよう、お願い申し上げます。

令和6年9月

品川区教育委員会

目次

○ 品川区の教育の特色をご紹介します	2
○ 「義務教育学校」と「小学校・中学校」との相違点	4
○ 小学校から中学校・義務教育学校の新入学までの手続	5
○ 学校改築についてお知らせします	5
○ 学校選択制について	6
○ 通学区域の一部変更について	8
○ 変更された通学区域の経過措置について	11
○ 抽選について	12
○ 就学指定通知書の発送について	14
○ 区内転居・区外転出・海外転出を予定される場合	14
○ 国公立中学校に就学される場合	14
○ 就学相談～生徒の成長のことで気になることはありませんか～	15
○ 外国籍の方の品川区立中学校・義務教育学校への入学について	15
○ 外国人学校（インターナショナルスクールなど）に就学される場合	15
○ 就学に必要な費用の援助について（就学援助費）	15
○ 指定校変更の申請について	16
○ 指定校変更をご利用いただくにあたって	16
○ 入学校決定までの流れ	17
○ 義務教育学校在籍の方の進級または新入学までの手続	20
○ Q & A	24
○ 令和7年度 各学校の新入学受入可能生徒数・学級数	28
○ 令和6年度 部活動一覧	29
○ 品川区立中学校・義務教育学校（後期課程）通学区域一覧	46
○ 指定校変更許可基準	48

各学校の紹介

※ ★は義務教育学校を表しています。

① 東海中学校	30
② 大崎中学校	31
③ 浜川中学校	32
④ 鈴ヶ森中学校	33
⑤ 富士見台中学校	34
⑥ 荏原第一中学校	35
⑦ 荏原第五中学校	36
⑧ 荏原第六中学校	37
⑨ 戸越台中学校	38
★ 日野学園	39
★ 伊藤学園	40
★ 八潮学園	41
★ 荏原平塚学園	42
★ 品川学園	43
★ 豊葉の杜学園	44



品川区の教育の



9年間の一貫教育と義務教育学校

品川区では、全国に先駆け、平成18年度に小中一貫教育を開始し、学力の向上と豊かな人間性の育成を目指し、義務教育9年間を一貫として捉え、連続性・継続性のある教育活動を行ってきました。この間、小学生と中学生とが一つの施設で学ぶ施設一体型小中一貫校も順次開設し、10年に渡り実践を積み重ねてきました。

そして、平成28年4月には、学校教育法等の一部を改正する法律が施行され、小学校・中学校に加えて、義務教育学校が新たな校種として位置づけられ、施設一体型小中一貫校6校は「義務教育学校」となりました。

これからも、小学校、中学校、義務教育学校それぞれの特徴を生かし、全校で9年間の一貫教育を実施していきます。

義務教育学校：日野学園、伊藤学園、八潮学園、荏原平塚学園、品川学園、豊葉の杜学園



グローバル人材育成塾

英語によるコミュニケーション能力や国際感覚を身に付けることを目的とした、7～9年生のうち希望者を対象とした放課後活動です。講師は外国人が担当し、令和元年度から全校を会場に実施しています。楽しみながら「使える英語」を身に付けるとともに、外国人講師との対話を通して異文化についての理解を深めることができるカリキュラムとなっています。



品川オンラインレッスン

平成27年度からインターネットを通じて海外の講師とマンツーマンの英会話レッスンを行っています。令和元年度から全校で実施しています。

現在は、月に1回25分のレッスンを、8年生は年間8回、7・9年生は年間4回行っています。



学校ICT教育推進

品川区ではICT機器（情報・通信に関する技術を活用したコンピュータ機器）を活用した授業を行っています。全区立学校にデジタル教科書やプロジェクタ、書画カメラなどを整備し、視覚的にわかりやすい学習を展開するほか、児童の発表にも活用しています。また、全児童・生徒には1人1台のタブレット端末を配備し、このタブレット端末を活用した学習を促すための授業を展開しています。

特 色 を ご 紹 介 し ま す

品川区独自教科「市民科」

「市民科」は、他の自治体で行われている「特別な教科道徳」「特別活動」「総合的な学習の時間」に代わるもので、社会の中で生きていくために必要な能力や判断力、行動力を育成していくものです。

ファイナンス・パーク

経済や社会の仕組みを実際に体験しながら学ぶ場として、「ファイナンス・パーク」を全ての8年生を対象に実施しています。「ファイナンス・パーク」は、生活に必要とされるお金について、大人の立場で生活設計をするプログラムです。タブレット端末から専用サイトにアクセスして、お金と自分に関わる様々な選択と意思決定を行います。

しながわ多様性理解・多文化共生推進事業

令和7年度デフリンピック開催（東京）を契機に、「しながわ多様性・多文化理解共生事業」を全園・全校展開し、障害者理解（多様性）や日本文化・スポーツ体験等（多文化共生）の推進を図っていきます。

品川コミュニティ・スクール

これからの学校は、保護者や町会・自治会、卒業生を含めた地域の方々に、今まで以上に学校運営に主体的に参加していただき、共に学校づくりを進めていく体制が必要です。そのための仕組みが品川コミュニティ・スクールです。学校運営に参画する「校区教育協働委員会」と、実際に学校支援を行う「学校支援地域本部」の二つの組織を同時に設置します。

平成28年度から3か年計画で実施校を拡大し、平成30年度からは全校で取り組んでいます。

「義務教育学校」と「小学校・中学校」との相違点

平成28年4月1日に学校教育法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、これまでの小学校、中学校等に加えて「義務教育学校」が新たな校種として位置付けられました。

このことを踏まえ、品川区では施設一体型小中一貫校6校を「義務教育学校」としました。

小学校・中学校と義務教育学校では、基本的に教育内容および学校生活には変更ありませんが、以下のような相違点があります。

義務教育学校とはどんな学校ですか？

修業年限：9年間

小学校段階に相当する6年を「前期課程」

中学校段階に相当する3年を「後期課程」に区分

組 織：校長1名 副校長3名 一つの教職員組織

どの学校が義務教育学校に当たるのですか？

日野学園・伊藤学園・八潮学園・荏原平塚学園・品川学園・豊葉の杜学園の6校です。

入学や卒業などに関する相違点

	義務教育学校	小学校・中学校
6年生修了時	義務教育学校の前期課程修了	小学校の全課程修了
	前期課程修了証書を発行	卒業式を実施 卒業証書を発行
7年生入学時	内部進学者（※1）→ 進 級 外部進学者（※2）→ 転編入学	中学校入学
		入学式を実施
9年生修了時	義務教育学校の後期課程修了	中学校の全課程修了
	卒業式を実施 卒業証書を発行	

※1 義務教育学校（前期課程）から同一の義務教育学校（後期課程）へ進む者のこと。

※2 他の学校から義務教育学校（後期課程）に入る者のこと。

◎ 義務教育学校（前期課程）修了時（6年生修了時）に、学校選択により全ての中学校および義務教育学校（後期課程）を選択することが可能です。

また、7年生から、義務教育学校（後期課程）に入ることも可能です。

ただし、希望校が抽選になった場合は、ご希望に沿えないこともあります。

⇒ その他義務教育学校に関するQ & Aについては、26・27ページをご参照ください。

小学校から中学校・義務教育学校の 新入学までの手続

- ※ 義務教育学校に在籍中の方は20ページをご参照ください。
- ※ 以下「入学」には義務教育学校の「転編入学」を含みます。

1 入学までの流れ

9月下旬	住所ごとに決められた通学区域の学校を通知
10月	学校公開・学校説明会を実施
10月末まで	通学区域外の学校を希望する方の 学校選択の申請期間
11月下旬	学校選択で希望の多かった学校の 抽選実施
12月下旬	教育委員会から 就学指定通知書 の発送(入学校を指定)
2月	各校で 入学準備 のための 入学説明会 を実施
4月上旬	入学式

区教育委員会では、住所ごとに入学する学校が指定される通学区域を定めており、通学区域の学校への入学を原則としています。

2 通学区域の学校に入学する場合

通学区域の学校に入学を希望される場合は、手続きは不要です。学校選択のための希望申請は、必要ありません。

12月下旬に通学区域の学校を指定した就学指定通知書（はがき）をご自宅に郵送しますので、その通知書を入学説明会などで通学区域の学校にご提出ください。

3 通学区域外の学校に入学を希望する場合

品川区では「学校選択」の申請をすることで通学区域外の学校を希望することができます。詳細は6・7ページをご参照ください。

また、入学校指定後に「指定校変更」手続によって指定校以外の学校に変更できる場合もあります。詳細は16・48ページをご参照ください。

学校改築についてお知らせします

改築工事予定は、下表のとおりです。

工事の時期や内容は、今後変更することがあります。

学校名	設 計	校舎改築工事	新校舎使用開始	グラウンド等 整備完了予定
浜川中学校	完 了	工 事 中	令和8年9月から (新校舎の一部は使用中)	令和9年8月末

学校選択制について

学校選択制は、通学区域の生徒を受け入れた後に、受入可能児生徒数（２８ページをご参照ください。）に余裕がある場合に、通学区域外の生徒を受け入れるものです。

中学校・義務教育学校の学校選択は、品川区立中学校・義務教育学校に入学する新７年生を対象に、**全１５校から希望する学校１校を選択していただける制度**です。

「令和６年度入学予定者より品川区電子申請サービスにて希望申請を受け付けております。」

また、学務課学事係窓口にて申請用紙に必要事項をご記入いただき申請いただくことも可能です。

申請期間 **令和６年１０月１日（火曜日）から３１日（木曜日）まで**

申請先 **○品川区電子申請サービスにて申請。**

品川区ホームページ>品川区電子申請サービス>郵送するIDでログイン
<https://tinyurl.com/5bn2vxnk>

○学務課窓口にて申請。

窓口受付時間：午前８時半から午後５時まで。

土曜日・日曜日・祝日を除く。

対象者 令和６年１０月３１日現在品川区に住民登録がある中学校・義務教育学校
新７年生

学校希望申請締切日（１０月３１日）までに区内転居される場合の希望申請については、
１８ページをご覧ください。

希望申請期間中とその終了後に申請状況を品川区のホームページでお知らせしています。

品川区ホームページ <https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

なお、学校改修についてのお知らせは５ページをご参照ください。

※特別なご事情により選択できる学校以外の学校に変更を希望する場合は、指定校変更を申請してください（１６・４８ページをご参照ください。）。なお、要件があります。

※**学校希望申請期間後（１１月以降）に区内転居される場合の手続については、**１９ページ
をご参照ください。

希望されても受入れできない場合があります

近年、品川区の就学人口は増加傾向にあります。学校によっては、通学区域外から希望申請をされても入学できない場合があります。

兄弟姉妹が在籍していても、受入れできない場合もあります。

学校選択をする際の、各学校の受入可能生徒数は、２８ページでお知らせしておりますので、ご参照ください。

希望が集中し抽選になる場合について

希望申請者が受入可能生徒数を超えた学校は、**抽選**となります。

抽選になった場合は１１月１８日（予定）に、品川区のホームページでお知らせするとともに、抽選対象者全員に郵送でお知らせします。

ただし、以下の者は無抽選で入学できます。

- ・通学区域の生徒
- ・義務教育学校の６年生で、同一校の７年生へ進級する者

希望する学校に既に兄弟姉妹が通われている場合について

近年、品川区の就学人口は著しく増加しており、兄弟姉妹と同じ学校へ希望しても入学できない学校もあります。兄弟姉妹が既に通っていることを理由に学校選択される場合は、ご了承の上で希望申請をしてください。

兄弟姉妹とは……来年度入学を希望する学校に既に兄弟姉妹が在籍（中学校の場合、現７・８年生、義務教育学校の場合、現１年生から８年生までに在籍）している場合を指し、今年度卒業される９年生は含みません。

【ご注意ください】

※希望される学校に兄弟姉妹が在籍している場合、希望申請時に兄弟姉妹の氏名をご記入ください。

申告がない場合、抽選となった場合の優先順位の優遇は受けられません。

同一世帯に同一学年児が複数いる場合

双生児など、同一世帯に同一学年児が複数いる場合の抽選は、一人一人個別に抽選を行うか、または、希望により抽選対象を一組とすることができます。

一組とする場合は、希望申請の際に一組で抽選を希望する旨を記入してください。

希望申請の結果について

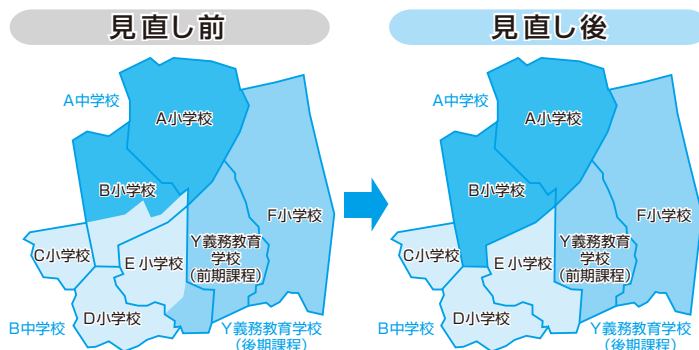
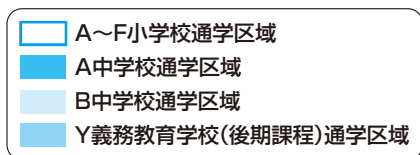
抽選とならなかった学校は、希望者を全て受入れできます。

また、抽選校であっても、抽選対象にならなかった方（優先順位第１位までは受入れができた場合など）は受入れができますので、１２月下旬に希望した学校を指定した就学指定通知書（はがき）を郵送します。

通学区域の一部変更について

令和2年度入学から、小学校・義務教育学校（前期課程）の通学区域が、一貫教育の連携を組む中学校・義務教育学校（後期課程）の通学区域にすべて収まるように中学校・義務教育学校（後期課程）の通学区域を見直しました。

この変更により、グループ内の連携を深め、9年間の一貫した教育をさらに推進する体制が整いました。



一貫教育の連携グループの設定

義務教育9年間の一貫教育における「連携グループ」を中学校・義務教育学校（後期課程）ごとに設定しております。

「連携グループ」は一つの中学校・義務教育学校（後期課程）と、通学区域を共有する1～3校の小学校・義務教育学校（前期課程）とで構成するものです。

中学校は住所地の通学区域の学校が指定校となります。通学区域外の小学校に在籍していて、その小学校の連携校が通学区域外の中学校である場合、連携している中学校への進学を希望される際は、中学校・義務教育学校（後期課程）の入学の際、学校選択の申請をする必要があります。

ただし、義務教育学校に入学したのち、同じ義務教育学校の7年生（後期課程）に進級を希望したときは、無抽選で進級できます。

連携グループ一覧

東海中 城南小 浅間台小 城南第二小	大崎中 三木小 芳水小	浜川中 鮫浜小 立会小 浜川小	鈴ヶ森中 鈴ヶ森小
富士見台中 伊藤小 上神明小	荏原第一中 後地小 小山台小 第四日野小	荏原第五中 源氏前小 旗台小 清水台小	荏原第六中 小山小 第二延山小
戸越台中 京陽小 宮前小	日野学園(後期課程) 第一日野小 前期課程 第三日野小	伊藤学園(後期課程) 大井第一小 前期課程 山中小	八潮学園(後期課程) 前期課程
荏原平塚学園(後期課程) 中延小 前期課程 延山小	品川学園(後期課程) 台場小 前期課程 御殿山小	豊葉の杜学園(後期課程) 大原小 前期課程 戸越小	黒字 … 小学校 水色 … 中学校 青色 … 義務教育学校

中学校・義務教育学校（後期課程）の通学区域の一部改正区域一覧

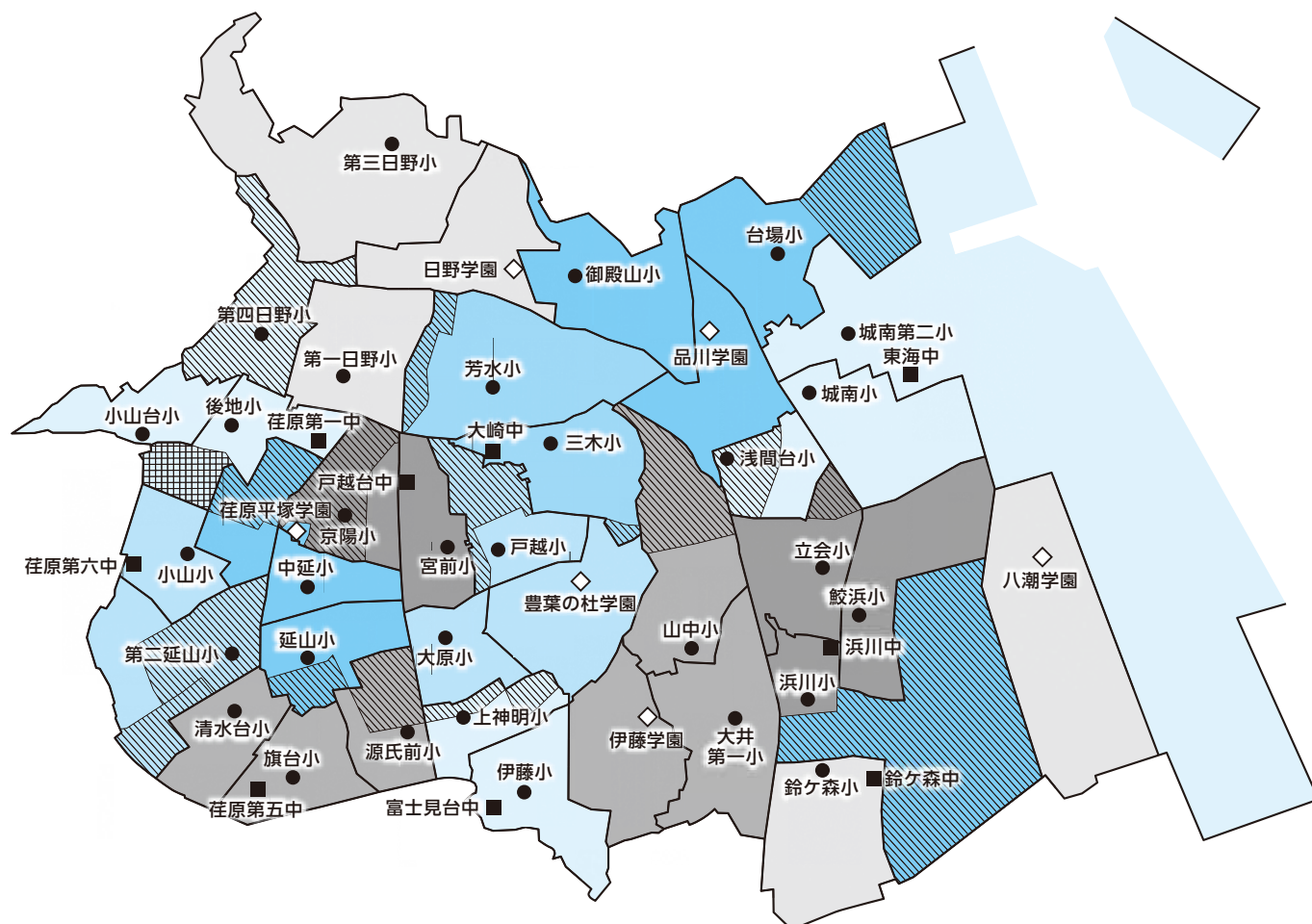
通学区域の改正区域			改正後	改正前
東品川	2丁目	全域	品川学園	東海中
南品川	5丁目	13番～16番	浜川中	東海中
	6丁目	全域	東海中	品川学園
西品川	1丁目	27番	大崎中	豊葉の杜学園
	2丁目	9番(1号、15号～17号、19号、21号、22号)	豊葉の杜学園	大崎中
広町	2丁目	全域	伊藤学園	豊葉の杜学園
上大崎	4丁目	全域	荏原第一中	日野学園
西五反田	1丁目	11番～23番	大崎中	日野学園
	3丁目	6番、10番～16番	荏原第一中	日野学園
	4丁目	全域	荏原第一中	日野学園
	5丁目	1番、7番～14番、23番～29番	荏原第一中	日野学園
	8丁目	4番～12番	大崎中	日野学園
南大井	1丁目	1番～17番	浜川中	鈴ヶ森中
	4丁目	6番～13番	浜川中	鈴ヶ森中
	5丁目	10番～15番	浜川中	鈴ヶ森中
勝島	1丁目	全域	浜川中	鈴ヶ森中
	2丁目	全域	浜川中	鈴ヶ森中
	3丁目	全域	浜川中	鈴ヶ森中
荏原	1丁目	1番(2号、3号)、2番(1号～4号、16号、17号)、5番(1号～7号、20号)、6番(1号～4号、15号)、9番(1号～4号、13号、14号)、10番(1号～6号、14号)、13番(1号～4号)、14番(1号～7号、13号～15号)	日野学園	荏原第一中
		15番～18番、20番～23番	戸越台中	荏原平塚学園

通学区域の改正区域			改正後	改正前
荏原	2丁目	1番～3番	戸越台中	荏原平塚学園
		4番～8番、10番～17番	荏原平塚学園	荏原第一中
		9番、18番	戸越台中	荏原平塚学園
	3丁目	全域	荏原平塚学園	荏原第一中
	6丁目	全域	荏原第六中	荏原平塚学園
平塚	7丁目	全域	荏原第六中	荏原平塚学園
	2丁目	全域	戸越台中	荏原平塚学園
旗の台	3丁目	全域	戸越台中	荏原平塚学園
	1丁目	1番、2番、6番～9番	荏原第六中	荏原平塚学園
中延	2丁目	2番、3番	荏原平塚学園	荏原第五中
	6丁目	1番～7番、13番～19番	荏原第六中	荏原第五中
西中延	3丁目	8番、9番、12番、13番	荏原第五中	荏原平塚学園
	4丁目	2番～14番、18番～21番	荏原第五中	荏原平塚学園
東中延	3丁目	全域	荏原平塚学園	荏原第五中
二葉	2丁目	7番～10番	荏原第五中	荏原平塚学園
戸越	1丁目	19番～25番、26番(5号～24号)、27番(13号～30号)、28番、29番(11号～28号)、30番	豊葉の杜学園	大崎中
		6番(1号～22号、31号、32号～39号)、7番～9番	豊葉の杜学園	戸越台中
	2丁目	3番(6号～18号)、4番(5号～14号)、10番、11番	豊葉の杜学園	戸越台中
	4丁目	8番、9番(1号～6号)	豊葉の杜学園	戸越台中
		9番(15号～18号)	豊葉の杜学園	戸越台中
豊町	1丁目	1番～10番、13番	豊葉の杜学園	大崎中
	6丁目	25番～31番	富士見台中	豊葉の杜学園
二葉	3丁目	1番～16番	富士見台中	豊葉の杜学園
		21番	豊葉の杜学園	富士見台中

(令和2年度入学から改正)

全体の通学区域については、46・47ページをご参照ください。

品川区立学校 通学区域図（見直し後）



各色で塗られたところは、中学校・義務教育学校（後期課程）の通学区域を表している。



黒線は、小学校・義務教育学校（前期課程）の通学区域を表している。



中学校・義務教育学校（後期課程）通学区域変更箇所



小学校通学区域変更箇所



義務教育学校



中学校



小学校

変更された通学区域の経過措置について

通学区域（一部）変更の経過措置

【新入生】

- ▶ 通学区域が変更された方は、旧通学区域の学校（９ページ表の改正前の学校に記載された学校）に兄弟姉妹が在籍している期間中のみ経過措置期間として、旧通学区域の学校を希望した場合に、無抽選で入学できます。

経過措置期間

○令和元年度までに入学した兄弟姉妹が在籍する間（※１）

【在校生】

- ▶ 原則として在籍校へ引き続き卒業まで通うものとします。

経過措置の場合の抽選時の受入優先順位

【義務教育学校（後期課程）】

対 象	抽選時の受入優先順位	経過措置期間
旧通学区域の学校を希望する方	無抽選受入	令和元年度までに入学した兄弟姉妹が在籍する間（※１）

- （※１）来年度入学を希望する学校に令和元年度までに入学した兄弟姉妹が在籍（義務教育学校現６年生から８年生までに在籍）している場合を指し、今年度卒業される義務教育学校９年生は含みません。

抽選について

学校選択の希望申請により受入可能生徒数を超えた学校は抽選になります。

抽選方法

抽選は11月下旬から12月上旬に品川区役所内で公開にて行います。抽選対象者に無作為の抽選番号を付し、その番号を郵送であらかじめお知らせした上で、抽選の優先順位ごとに職員が抽選器を使用して決定していきます。

なお、優先順位は13ページの表のとおりです。

抽選結果

抽選では、その場で受入れが決まる場合と、その場で受入れができず待機の順番を決め、繰り上がりをお待ちいただく場合があります（「待機者」となります）。

抽選結果は品川区役所第二庁舎7階学務課前に掲示します（土曜日・日曜日・祝日を除く）。

また、抽選日当日の夕方から品川区のホームページにも掲載予定です。

後日、抽選対象者全員に郵送で結果をお知らせします。

学校選択による抽選当選者と待機者の就学指定

12月下旬に就学指定通知書（はがき）を郵送しますが、抽選当選者には希望校を指定し、待機者には住所に基づく通学区域の学校を指定します。

待機者が繰り上がって希望校へ受け入れできた場合は、学務課で就学する学校を再指定し就学指定通知書（はがき）を郵送します。

待機の方へのお願い

就学指定通知書（はがき）は、2月に学校で開催される入学説明会で学校にご提出いただくことで、入学の意思を示すことになります。このため、待機中の間は、入学説明会に参加しても就学指定通知書（はがき）は提出しないでください。

なお、就学指定された学校以外の入学説明会に参加する場合は、希望する学校へ事前に連絡してからご参加ください。

待機の繰上げについて

品川区外への転出や国公立中学校への入学により、抽選した中学校・義務教育学校の入学に辞退者が出ると、順次待機者を繰り上げていきます。

待機者の繰上げは2月上旬から始まり、連絡は電話にて行います。ご不在でも待機の順位が変わることはありません。

繰上げ最終期限

繰上げの最終期限は、令和7年2月28日（金曜日）までです。繰上げ最終期限をもって、令和7年度新7年生の学校選択は終了となります。これ以降繰上げ連絡をすることはありません。繰上げ最終日まで、繰上げの連絡がなかった場合、就学指定された通学区域の学校に入学することになります。

中学校・義務教育学校 新7年生 抽選の受入優先順位

学校名	無抽選受入	第1順位	第2順位	第3順位
東 海	・通学区域	兄弟 (※2) が在籍	連携校（城南・城南第二・浅間台小学校）に在籍し、 かつ東海中学校の通学区域外に居住	区内 全域
大 崎			連携校（三木・芳水小学校）に在籍し、 かつ大崎中学校の通学区域外に居住	
浜 川			連携校（立会・鮫浜・浜川小学校）に在籍し、 かつ浜川中学校の通学区域外に居住	
鈴 ケ 森			連携校（鈴ヶ森小学校）に在籍し、 かつ鈴ヶ森中学校の通学区域外に居住	
富 士 見 台			連携校（伊藤・上神明小学校）に在籍し、 かつ富士見台中学校の通学区域外に居住	
荏 原 第 一			連携校（後地・小山台・第四日野小学校）に在籍し、 かつ荏原第一中学校の通学区域外に居住	
荏 原 第 五			連携校（源氏前・旗台・清水台小学校）に在籍し、 かつ荏原第五中学校の通学区域外に居住	
荏 原 第 六			連携校（小山・第二延山小学校）に在籍し、 かつ荏原第六中学校の通学区域外に居住	
戸 越 台			連携校（京陽・宮前小学校）に在籍し、 かつ戸越台中学校の通学区域外に居住	
日 野 学 園	・日野学園（後期課程）通学区域 ・旧通学区域に居住し、かつ兄弟姉妹が在籍（※1） ・日野学園（前期課程）に在籍	兄弟 姉妹 (※3) が在籍	連携校（第一日野・第三日野小学校）に在籍し、 かつ日野学園（後期課程）の通学区域外に居住	区内 全域
伊 藤 学 園	・伊藤学園（後期課程）通学区域 ・伊藤学園（前期課程）に在籍		連携校（大井第一・山中小学校）に在籍し、 かつ伊藤学園（後期課程）の通学区域外に居住	
八 潮 学 園	・八潮学園（後期課程）通学区域 ・八潮学園（前期課程）に在籍		区内全域	
荏 原 平 塚 学 園	・荏原平塚学園（後期課程）通学区域 ・旧通学区域に居住し、かつ兄弟姉妹が在籍（※1） ・荏原平塚学園（前期課程）に在籍		連携校（中延・延山小学校）に在籍し、 かつ荏原平塚学園（後期課程）の通学区域外に居住	
品 川 学 園	・品川学園（後期課程）通学区域 ・旧通学区域に居住し、かつ兄弟姉妹が在籍（※1） ・品川学園（前期課程）に在籍		連携校（御殿山・台場小学校）に在籍し、 かつ品川学園（後期課程）の通学区域外に居住	
豊 葉 の 杜 学 園	・豊葉の杜学園（後期課程）通学区域 ・旧通学区域に居住し、かつ兄弟姉妹が在籍（※1） ・豊葉の杜学園（前期課程）に在籍		連携校（戸越・大原小学校）に在籍し、 かつ豊葉の杜学園（後期課程）の通学区域外に居住	

（※1）令和2年度（2020年度）改正前に通学区域であった区域に居住し、令和2年度（2020年度）改正前に通学区域であった学校を希望する者で、入学する年度に希望校に令和元年度までに入学した兄弟姉妹が在籍している者は無抽選として扱う。

（※2）希望校が学校選択で抽選校となった場合、入学する年度に兄弟が希望校に在籍している者は第1順位として扱う。

（※3）希望校が学校選択で抽選校となった場合、入学する年度に兄弟姉妹が希望校に在籍している者は第1順位として扱う。



就学指定通知書の発送について

小学校 6 年生の方

1 2月下旬に入学する学校を指定した「就学指定通知書」（はがき）を郵送します。

2月に学校で開催される入学説明会で、就学指定通知書（はがき）を学校にご提出いただくことで入学が確定します。※提出が必要になりますので紛失しないようにご注意ください。

入学説明会の日程で都合がつかないなどのご事情があれば、学校に直接ご相談ください。

義務教育学校 6 年生の方

22ページをご参照ください。



区内転居・区外転出・海外転出を予定される場合

品川区立中学校・義務教育学校（後期課程）に入学できるのは、原則として小学校・義務教育学校（前期課程）の課程を修了し、来春入学時に品川区内に住民登録がある方です。

また、学校選択をご利用いただけるのは、令和6年10月31日現在品川区に住民登録がある方です。

区内転居の予定がある場合は、転居の時期により手順が異なります。

- ・学校希望申請締切日（10月31日）までに転居する方
→18ページをご参照ください。
- ・学校希望申請期間後（11月以降）に転居する方
→19ページをご参照ください。

区外転出・海外転出される方は、学務課までご連絡ください。

区外に転出される方は、品川区立中学校・義務教育学校へは入学できません。それに伴い、学校選択による希望がある場合についても無効とさせていただきます。住民票の異動が完了するまでの間は、新入学に関するお知らせが届きますがご了承ください。

また、転出先の新入学手続きに関しては、転出先の教育委員会へお問い合わせください。



国公立中学校に就学される場合

国公立中学校に入学することが決まった方は、入学する中学校から「**入学を許可する旨の書類（以下「入学許可書」という。）**」が交付されますので、電話番号をご記入の上、速やかに**原本**を学務課にご提出ください（郵送可）。

特に、抽選となった学校では、待機となり繰上げ入学を待っている方もいらっしゃいますので、ご提出がない場合は問合せなどをさせていただくことがあります。

小学校 6 年生の方

学務課が12月下旬に郵送する就学指定通知書（はがき）も併せてご提出ください。

以下の期限以降に「入学許可書」が交付される方は、交付を受け次第ご提出ください。

義務教育学校 6 年生の方

22ページをご参照ください。

提出期限 令和7年2月14日（金曜日）

提出先 〒140-8715 品川区広町2丁目1番36号

品川区教育委員会事務局 学務課 学事係（品川区役所第二庁舎7階）



就学相談 ～お子様の成長のことで気になることはありませんか～

就学にあたり発達などのことで心配や不安のある方の相談を行っています。

一人一人の生徒がもつ可能性を十分に生かし伸ばしていくために保護者の皆様と話し合って、適切な学びの場を決めていきます。

【問合せ先】

教育総合支援センター 特別支援教育担当

品川区西五反田6丁目5番1号 教育文化会館4階

電話 03-5740-8202（午前9時から午後5時まで。土曜日・日曜日・祝日を除く。）

令和6年度受付期間 令和6年11月29日（金曜日）まで ※就学相談の受付はWEBで行なっています。

就学相談の受付は
こちらから



外国籍の方の品川区立中学校・義務教育学校への入学について

外国籍の生徒が品川区立中学校・義務教育学校に入学を希望する場合は、在留カードなどをご持参の上、学務課で申込手续が必要です。詳しくは学務課にお問い合わせください。

★日本語習得について支援が必要な方へ

日本語の習得に支援が必要な方に日本語教育を実施しています。

教室は山中小学校（品川区大井3丁目7番19号）にあり、学年、能力などに応じて、必要な期間、入学した学校から通って授業を受けます。申込は入学後、学校を通して行います。



外国人学校（インターナショナルスクールなど）に就学される場合

外国人学校（インターナショナルスクールなど）に入学される方は、前ページの「国公立中学校に就学される場合」と同様の方法により、学務課へ「入学許可証」をご提出ください。

学校教育法では、日本国民である保護者が日本国籍を有する子に学校教育法第1条に規定されている学校で教育を受けさせる義務について規定しており、学校教育法第1条に規定されている学校として認められていない外国人学校を修了しても、小学校等の課程を修了したことにはなりません。

インターナショナルスクールの小学部などを修了した児童が、国公立中学校・義務教育学校（後期課程）へ入学することは認められません。

重国籍の方は、就学猶予・免除が認められる場合があります。詳細は、学務課までお問い合わせください。



就学に必要な費用の援助について（就学援助費）

公立中学校・義務教育学校に通学する生徒の就学に必要な費用（社会科見学や修学旅行費など）を援助します。入学校で4月に就学援助の申請書を配布しますので、学務課にご提出ください。

所得制限が設けられており、認定された場合は、学期末ごとに年3回の支給があります。



指定校変更の申請について

入学する学校の指定は、お住まいの住所に基づき品川区教育委員会が行います。

ただし、就学指定された学校とは異なる学校を希望する場合は、その理由を付し、指定校変更の申請をしてください。その申請に基づき、指定校変更許可基準（４８ページをご参照ください。）に沿って審査します。

（※学校の状況によっては、受入れができない場合があります。）

申請期間 令和７年１月７日（火曜日）から入学まで随時受付

申請先 品川区教育委員会事務局 学務課 学事係（品川区役所第二庁舎７階）
申請書に申請理由をご記入いただきますが、あらかじめ、ご用意いただいた理由書（書式自由）を添付することもできます。

理由書の様式は品川区のホームページにもありますので、ご活用ください。

申請は窓口のみの受付となり、郵送での受付は行っておりません。

※就学指定通知書（はがき）を必ずお持ちください。

結果通知 通常、申請書をご提出いただいてから約１か月後に結果を郵送します。
ただし、２月以降の国公私立中学への進学状況により抽選の繰上げ数を判断する場合があるため、結果を郵送するまでに１か月以上かかる場合があります。



指定校変更をご利用いただくにあたって

学校選択で抽選となった学校で、待機者がいる、または、待機者が全員繰り上がらなかった学校は、受入可能生徒数を超えて入学予定者がいる状態のため、指定校変更の申請があっても入学は原則として認めておりません。

学校選択で待機となった方が指定校変更を申請する場合は、待機辞退者として取り扱います。

実態のない住民票の異動による入学は認めません

希望校に入学させるための、実態を伴わない住民票の異動（例：主に生活する場所と住民票が異なる場合など）は行わないでください。

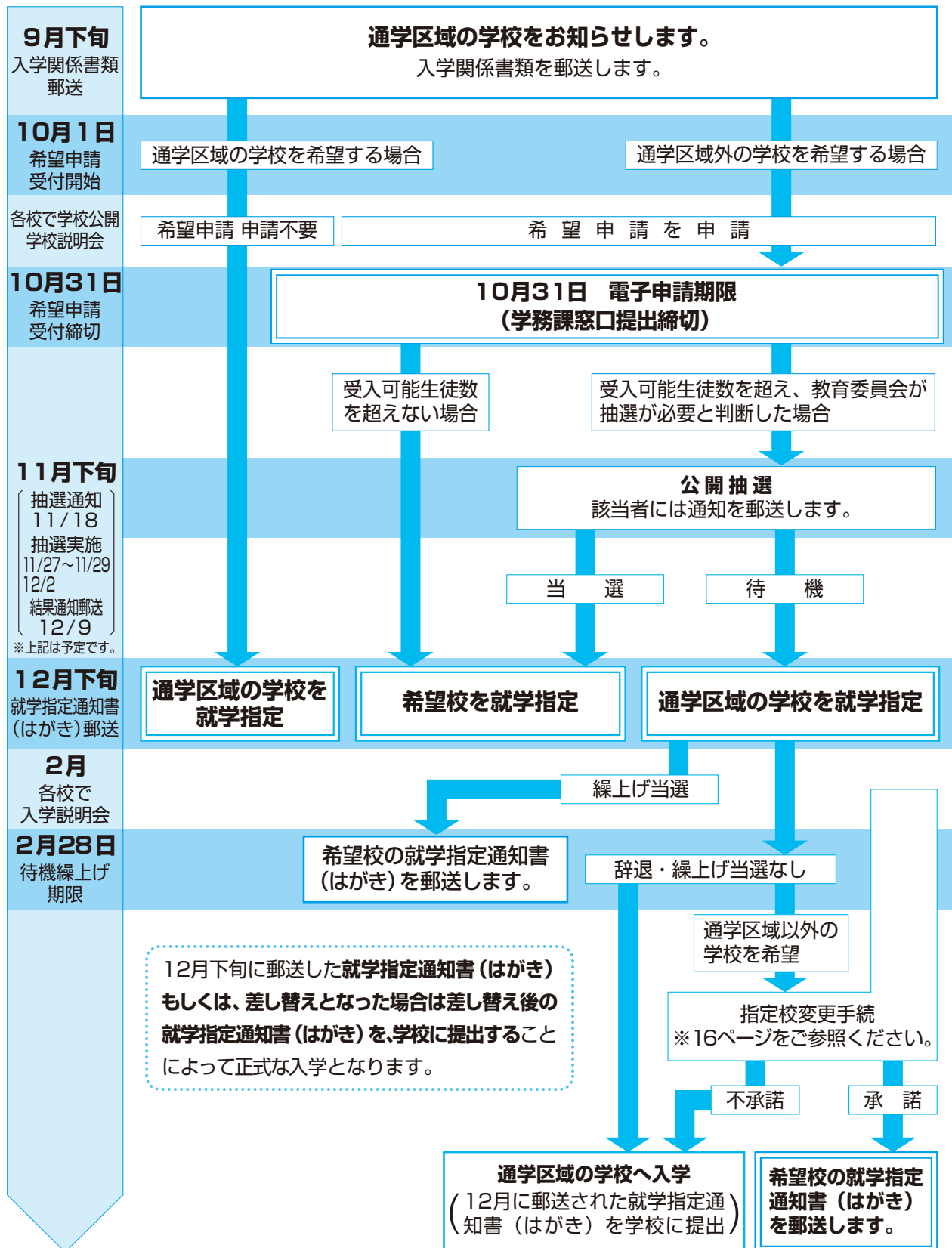
不適正な住民票の異動は、法令違反であるばかりでなく、義務教育の正常な運営を阻害する要因となるものであり、そのようなことが判明したり、疑義が生じた場合、品川区教育委員会では必要に応じて実態調査を行うなど厳正な対応を行っております。

虚偽の届出と判断した場合は、就学指定を取り消します。その場合は、主に生活する住所の通学区域の学校へ就学指定し直しますので、予めご了承ください。

また入学後、そのようなことが判明した場合、通学区域の学校へ転校していただきます。

保護者の皆様におかれましては、適正な就学事務にご理解・ご協力をお願いします。

入学校決定までの流れ



- * 待機中や国公立中学校の合否発表待ちの方は、入学校が決定するまで就学指定通知書(はがき)を保管し、品川区立中学校・義務教育学校へ入学が決定した時点で、就学指定通知書(はがき)を学校にご提出ください。
- * 就学指定通知書(はがき)を紛失しないようご注意ください。
- * 国公立中学校に入学が決定した方は、入学許可書と就学指定通知書(はがき)を学務課にご提出ください。

学校希望申請締切日（10月31日）までに転居する場合

10月31日までの区内転居 ＝希望申請で手続きができます＝

～入学案内を確認～

- ◎ 入学案内に記載してある、通学区域の学校をご確認ください。
- ◎ 入学希望の学校によって手続き異なります。
下記に従って手続きしてください。

【例】

転居前

通学区域の学校

→東海中学校

転居後

通学区域の学校

→荏原第五中学校

① 通学区域の学校「東海中学校」へ入学希望

⇒希望申請の申請の必要はありません。

② 転居先の通学区域の学校

「荏原第五中学校」へ入学希望

⇒希望申請記入部分に「転居先住所・転居日」と「転居先の通学区域の学校」をご記入ください。

③ 転居先の通学区域の学校

「荏原第五中学校」以外の学校に入学希望

⇒希望する学校を選択してください。
(※1) 区内転居を伴わない場合の学校選択と同じになります。

下記の注意事項を
ご確認の上、希望
申請を学務課まで
希望申請受付期間
内に、ご申請くだ
さい。

(※1) 希望校が抽選となった場合はご希望に沿えない場合があります。

※ ②は住民登録の異動の手続きが完了しない場合および実際の居住地と異なる場合は、転居先の通学区域の学校への入学を保証できません。

△ 注意事項 △

住民票の異動の事実については、住民票などの提出は必要ありませんが、後日、居住実態の確認などのために「転居先の住所と入居可能日が確認できるものの原本（賃貸借契約書、建物の工事請負契約書など）」を確認させていただく場合があります。その際は、学務課よりご連絡させていただきますので、ご協力をお願いします。

学校希望申請期間後（11月以降）に転居する場合

11月1日から入学までに区内転居

＝ 1月上旬に開始する「指定校変更の申請」の手続（※1）が必要です＝
就学指定通知書（はがき）に記載してある就学指定校を確認してください。

○ 就学指定通知書（はがき）

～就学指定通知書（はがき）を確認～

◎住民登録されている住所に12月下旬、就学指定通知書（はがき）を郵送します。そこに記載されている学校をご確認ください。

（記載されている就学指定校は、転居前の通学区域の学校、または、学校選択し、入学が認められた学校です。）

◎就学指定通知書（はがき）が12月下旬に届きましたら、下記に従って手続をしてください。

【例】

就学指定通知書（学校提出用）

入学説明会の時に、この用紙を切り取り、（ ）内をご記入のうえご持参ください。
令和7年4月1日付で入学される区立中学校・義務教育学校について、下記のとおりお知らせします。

入学指定校： **東海中学校**

住 所	
生 徒 名	
保護者名	

【例】

転居前

通学区域の学校
→ **東海中学校**

転居後

通学区域の学校
→ **荏原第五中学校**

変更などがあった場合にご記入ください。

就学指定校「東海中学校」へ入学希望

⇒手続の必要はありません。就学指定通知書（はがき）に転居先の住所などを記入して、学校にご提出ください。

転居先の通学区域の学校「荏原第五中学校」へ入学希望

⇒就学指定通知書（はがき）および転居先の住所と入居可能日が確認できるものの原本（※2）を持参の上、学務課で指定校変更の手続（※1）を行ってください。

就学指定校「東海中学校」および、 転居先の通学区域の学校「荏原第五中学校」以外の学校へ入学希望

⇒就学指定通知書（はがき）を持参の上、学務課で指定校変更の手続（※1）を行ってください。通常の指定校変更と同じになりますので、希望する学校の状況によってはご希望に添えない場合があります。

※1：指定校変更の手続は16・48ページをご参照ください。

※2：賃貸借契約書、建物の工事請負契約書など。

義務教育学校在籍の方の進級または新入学までの手続

※ 以下「入学」には義務教育学校の「転編入学」を含みます。

1 在籍校に引き続き進級する場合

(1) 手続

在籍校に引き続き進級する場合は、就学のための申請など手続の必要はありません。そのまま後期課程に進級が可能です。

義務教育学校は、卒業まで就学指定されるため、改めて後期課程の学校を指定する就学指定通知書（はがき）は送付いたしません。

(2) 日程

9月下旬	義務教育学校・中学校入学に関する案内を郵送 ※そのまま進級する場合、就学のための申請などは必要ありません。
2月	各校で 進級準備 のための 説明会 を実施
4月上旬	後期課程始業式

2 在籍校以外の学校に入学を希望する場合

(1) 手続

「学校選択」の手続をすることで在籍校以外の学校を希望することができます。詳細は「3 学校選択制について」をご参照ください。

(2) 日程

9月下旬	義務教育学校・中学校入学に関する案内を郵送 在籍校または学務課から希望申請票を入手
10月末まで	在籍校以外の学校を希望する方の 学校選択の申請期間
11月下旬	学校選択で希望の多かった学校の 抽選 実施
12月中旬	抽選結果通知 送付 当選者には在籍校以外の学校に入学するための申請書を同封 当選しなかった方は待機
2月	各校で 入学準備 のための 入学説明会 を実施
2月末まで	繰上り状況に応じて、随時 就学指定通知書(はがき) の発送(入学校を指定) ※選択した希望校に入学できなかった方は、今までの在籍校で進級することとなります。
4月上旬	入学式

3 学校選択制について

学校選択制は、通学区域の生徒および、同じ義務教育学校内で6年生から7年生へ進級する者を受け入れた後に、受入可能生徒数（28ページをご参照ください。）に余裕がある場合に、通学区域外の生徒等を受け入れるものです。

義務教育学校（前期課程）修了時（６年生修了時）に、そのまま在籍校に進級される以外に、学校選択制を利用して、**全ての品川区立中学校・義務教育学校の中から希望する学校を１校選択することができます。**

学校選択を希望する場合は、在籍校または学務課から**希望申請票**を入手した上、学務課へご提出ください。

なお、学校選択をして、抽選によらず受入れが決定した方、通学区域の学校を選択して受入れが決定した方には、学務課から在籍校以外の学校に入学するための申請書（以下「申請書」という。）を１２月下旬に郵送します。その申請書を学務課にご提出いただくことによって入学の手続が完了します。手続が完了した後に、おおよそ１か月程度で就学指定通知書（はがき）を郵送します。

その他、学校選択に関する事項は、６・７ ページをご参照ください。

なお、学校改築についてのお知らせは５ページをご参照ください。

4 抽選について

学校選択の希望申請により受入可能生徒数を超えた学校は抽選となります。

抽選方法・抽選結果

12・13 ページをご参照ください。

学校選択による抽選当選者と待機者の就学指定

● 抽選当選者の方

抽選当選者には、抽選結果通知と一緒に申請書を同封します。その申請書を学務課にご提出いただくことによって、抽選当選の手続が完了します。

手続が完了した後に、おおよそ１か月程度で就学指定通知書（はがき）を郵送します。

※当該申請書のご提出がない場合、当選を無効とすることがあります。忘れずに手続をしてください。

● 抽選待機後に繰り上がった方

抽選待機後に希望校に繰り上がった方は、学務課から繰上りのご連絡をした時点で、随時申請書を郵送します。

その申請書を学務課にご提出いただくことによって、抽選繰上りの手続が完了します。

手続が完了した後に、おおよそ１か月程度で就学指定通知書（はがき）を郵送します。

例年、待機者の繰上げは２月上旬から始まりますが、入学まで日数に余裕がないため、お早めに手続をお願いします。

※当該申請書のご提出がない場合、当選を無効とすることがあります。忘れずに手続をしてください。

● 抽選待機後に繰り上がらなかった方

抽選待機後に希望校に繰り上がらなかった方は、在籍校の後期課程へそのまま進級となります。従って、改めて就学のための申請など手続の必要はありません。

待機の繰上げについて

12 ページをご参照ください。

繰上げ最終期限

繰上げの最終期限は、令和7年2月28日（金曜日）までです。繰上げ最終期限をもって、令和7年度新7年生の学校選択は終了となります。これ以降、繰上げ連絡をすることはありません。繰上げ最終日までに、繰上げの連絡がなかった場合、現在在籍している学校に進級することになります。

5 就学指定通知書の発送について

● 義務教育学校6年生で、在籍している学校に進級される方

内部進学となりますので、「就学指定通知書」（はがき）は発行しません。

● 義務教育学校6年生で、在籍している学校以外の学校に入学される方

希望校への受入れが可能となった方は、学務課から送付される、「申請書」を学務課に提出してください。

手続が完了した方にのみ、随時「就学指定通知書」（はがき）を郵送します。

「就学指定通知書」（はがき）が届きましたら、学校にご提出ください。

ご注意ください！

「抽選に当選した・抽選繰上げになった・希望校に受入れが決まった」だけでは「就学指定通知書」（はがき）は郵送されません。在籍校以外の学校に入学するための手続が必要（21 ページ「4」）をご参照ください。）となりますのでご注意ください。

6 国公立中学校に就学される場合などについて

- (1) 義務教育学校在籍している方で、国公立中学校に入学することが決まった方は、電話番号をご記入の上、「入学許可書」の原本を速やかに学務課にご提出ください（郵送可）。また、併せて、転校の手続が必要となりますので、在籍校にご連絡ください。

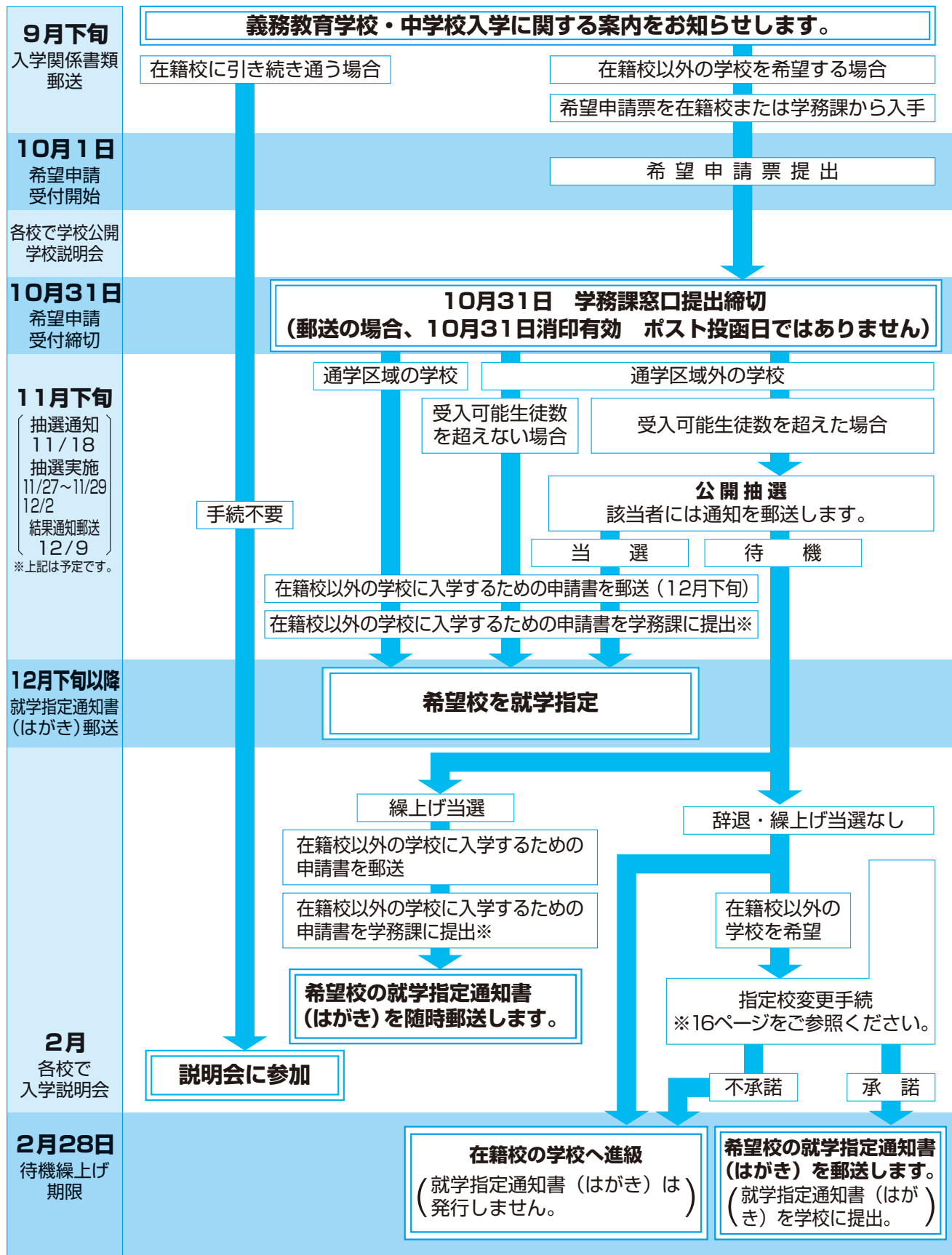
提出期限 令和7年2月14日（金曜日）

提出先 〒140-8715 品川区広町2丁目1番36号

品川区教育委員会事務局 学務課 学事係（品川区役所第二庁舎7階）

- (2) 区内転居・区外転出・海外転出を予定される場合
 (3) 就学相談
 (4) 外国籍の方の品川区立中学校・義務教育学校への入学について
 (5) 外国人学校（インターナショナルスクールなど）に就学される場合
 (6) 就学に必要な費用の援助について（就学援助費）
 → (2) から (6) までは14・15ページをご参照ください。

7 7年生進級・入学校決定までの流れ



※「抽選に当選した・抽選繰上げになった・希望校に受入れが決まった」だけでは「就学指定通知書」(はがき)は郵送されません。在籍校以外の学校に入学するための申請書を学務課に提出する必要があります。

※ 就学指定通知書(はがき)を紛失しないようにご注意ください。

※ 抽選待機者で、繰上げがなかった場合、在籍校の後期課程へそのまま進級となります。

❖ 学校選択Q&A

Q.1 希望申請は必ず申請しなければなりませんか？

A.1 通学区域の学校へ入学または在籍の義務教育学校へ進級を希望される場合は、申請は不要です。
通学区域外の学校へ入学を希望される場合または義務教育学校に在籍している場合で、在籍校以外の学校に入学を希望される場合は、申請が必要です。

Q.2 通学区域外の学校に入学を希望する場合、電子申請サービス以外の方法がありますか？

A.2 学務課の窓口にて申請書をご記入いただき申請することもできます。

❖ 抽選Q&A

Q.3 抽選校や抽選日はどのように決定され、また、知ることができますか？

A.3 学校選択の結果、希望者が多く、受入可能生徒数を超えている学校が抽選対象となります。抽選対象者には学務課から11月18日にお知らせをお送りする予定です（品川区のホームページにも抽選校を掲載する予定です）。
抽選日などのスケジュールは17ページをご参照ください。

Q.4 抽選会場に行かないと不利になってしまうのでしょうか？

A.4 不利になることは一切ありません。
抽選は品川区役所内で公開にて実施します。会場に来られた方の中から立会いをお願いし、抽選を行います。抽選会場はどなたでも入場できるようになっており、来場された方の出欠も確認しておりません。

Q.5 兄姉が現在中学校・義務教育学校の9年生に在籍し、来年は高校生となりますが、この場合に新7年生となる弟妹は抽選の際、優遇措置を受けられるのでしょうか？

A.5 入学する年に兄姉が在籍している条件を満たさないため、優遇措置の対象とはなりません。

Q.6 待機の繰り上がりは例年いつ頃が多いのでしょうか？

A.6 例年、2月中旬から下旬に繰り上がりが多い傾向にあります。その理由としては、この頃に国公立中学校の入学試験に合格された方が、当該学校の入学に係る事務手続を終え、区立中学校辞退の書類を提出されるため、この時期に多くの辞退者が出るものと考えられます。

Q.7 抽選の待機中ですが、繰上げの最新状況を知るにはどうしたらいいですか？

A.7 学務課前（第二庁舎7階）に繰上げの最新状況を掲示しております。

Q.8 抽選待機中ですが、待機中の学校の入学説明会に参加できますか？

A.8 事前に待機中の学校にその旨をお伝えいただいた上で、入学説明会にご参加いただけます。

Q.9 抽選待機中に国公立中学校に入学が決まったのですが、どうすればよいですか？

A.9 品川区立中学校・義務教育学校に入学しなくなった旨の連絡を、速やかに学務課にしてください。
また、進学する国公立中学校から発行される入学許可書などの原本および就学指定通知書（はがき）を学務課にご提出ください（郵送可）。
義務教育学校に在籍している方は、入学許可書の原本を学務課に提出するとともに、在籍校で転校の手続が必要となりますので、学校にもご連絡ください。

Q.10 現在抽選の待機中ですが、繰上期限前に標準服の申込期間が終わってしまいましたが、どうしたらよいですか？

A.10 個別の対応となりますので、現在指定されている学校および待機中の学校にそれぞれお問い合わせください。

義務教育学校Q&A

Q.11 同じ学校で前期課程（１～６年生）から後期課程（７～９年生）に進級する場合、手続は必要ですか？

A.11 就学に関する新たな手続は必要ありません。

Q.12 在籍している前期課程からそのまま後期課程に進級する場合、小学校から中学校に入学される方のように、就学指定通知書（はがき）は発行されるのですか？

A.12 内部進学扱いとなるため、就学指定通知書（はがき）は発行されません。

Q.13 義務教育学校（前期課程）から在籍校以外の学校に入学を希望する場合、どのような手続が必要ですか？

A.13 基本的に学校選択制に基づく手続となり、希望申請票を学務課へ提出することが必要です。
詳細は２０～２３ページをご参照ください。

Q.14 在籍校以外の学校に入学を希望するための申請票はどこで入手できますか？

A.14 在籍校または学務課で希望申請票を交付しています。

Q.15 小学校から各学校に入学される方には就学指定通知書（はがき）が届いているようですが、義務教育学校（前期課程）在籍者である私には就学指定通知書（はがき）が届きません。なぜですか？

A.15 義務教育学校（前期課程）からそのまま後期課程に進級される方は、内部進学扱いとなるため、就学指定通知書（はがき）を送付いたしません。
他方、小学校から各学校に入学される方および義務教育学校の在籍校以外の学校に入学される方には、１２月下旬以降に通学区域の学校等を指定した就学指定通知書（はがき）をご自宅に郵送します。
小学校から中学校・義務教育学校に入学される方々とは異なりますが、ご安心ください。

Q.16 小学校と義務教育学校では、学校生活は変わるのですか？

A.16 基本的な学校生活は変わりません。

Q.17 義務教育学校では、7年生の入学式はどうなるのですか？

A.17 7年生の開始は「後期課程の始業」となり、節目となる行事などを実施します。

❖ その他

Q.18 入学式までに品川区から転出することが決まりましたが、学校選択などはどのように取り扱われますか？ また手続は必要でしょうか？

A.18 品川区外へ転出される場合、品川区立の中学校・義務教育学校へご入学することはできませんので、学校選択などの結果も無効となります。
また、転出することが確定した時点で、学務課および品川区の就学予定の学校に連絡していただく必要があります。

Q.19 見学したい学校公開の日程が重複していますが、どうすればよいですか？

A.19 希望申請期間中に実施している学校公開以外にも、各学校がそれぞれ学校公開を行っている場合があります。各学校に直接お問い合わせください。

Q.20 自転車での通学は許可されるでしょうか？

A.20 自転車通学は禁止されています。45ページの通学における約束および注意事項も併せてご参照ください。

Q.21 就学指定通知書を紛失しました。再発行できますか？

A.21 就学指定通知書は学校に渡すことで入学が確定する、非常に重要な書類となります。そのため、提出まで紛失しないよう**大切に**保管してください。
万一紛失してしまった場合には、学務課へご連絡いただき、再発行の申請を行ってください。その後、学務課窓口にて本人確認させていただいた上でお渡しいたします。※窓口にいらっしゃる方の本人確認書類をお持ちください。

令和7年度 各学校の新入学受入可能生徒数・学級数

新入学の受入可能生徒数については、住民基本台帳を基に、学校規模や過去の学校選択での入学実績および卒業までの転入生等を考慮し決定しております。

近年の就学人口の増加に伴い、通学区域外からの希望申請が受入可能生徒数より多くなった場合、受入れできないことがございますので、ご了承ください（なお、通学区域内の学校への入学は受入枠にかかわらず、全員入れます。）。

学校名 ★…令和6年度に抽選が行われた学校	令和6年度 実績		令和6年度抽選結果			令和7年度 中学校・義務教育学校 新入学受入可能生徒数・学級数	
	学 区 人 数 (10/1)	入 学 者 数 (4/7)※1	受 入	辞 退 ※2	入 学 可	受入可能 学級数	受入可能 生徒数
★ 東 海 中 学 校	286	141	22	9	0	4	145
★ 大 崎 中 学 校	197	62	7	14	0	3	105
浜 川 中 学 校	292	103	—	—	—	4	145
鈴 ケ 森 中 学 校	92	116	—	—	—	4	145
富 士 見 台 中 学 校	123	81	—	—	—	3	105
★ 荏 原 第 一 中 学 校	202	152	58	21	0	5	185
荏 原 第 五 中 学 校	167	129	—	—	—	4	145
★ 荏 原 第 六 中 学 校	158	74	7	6	0	3	105
★ 戸 越 台 中 学 校	117	92	31	23	0	3	105
★ 日 野 学 園	286	133	30	53	0	4	145
伊 藤 学 園	312	146	—	—	—	4	145
八 潮 学 園	69	75	—	—	—	4	145
荏 原 平 塚 学 園	166	101	—	—	—	4	145
★ 品 川 学 園	224	117	16	16	0	4	145
★ 豊 葉 の 杜 学 園	184	141	16	38	0	4	145
計	2875	1663	187	180	0	57	2055

※1 入学者数と学区人数の差は、学校選択、国公立中学校入学または転入出によります。

※2 国公立中学校入学、区外転出などで待機を辞退をされた方

令和6年度 部活動一覧

令和7年度の部活動の活動状況は、教員の異動などにより内容に変更が生じる場合があります。部活動を理由に学校選択される際は、ご注意ください。

各部活動の活動内容の詳細は、学校へお問い合わせください。

男子・・・● 女子・・・○ 男女両方・・・◎

(令和6年6月現在)

	中学校 義務教育学校	東	大	浜	鈴 ヶ 森	富 士 見 台	荏 原 第 一	荏 原 第 五	荏 原 第 六	戸 越 台	日 野 学 園	伊 藤 学 園	八 潮 学 園	荏 原 平 塚 学 園	品 川 学 園	豊 葉 の 杜 学 園
	部活動	海	崎	川												
運 動 部	陸上競技	○			○		○				○	○	○		○	○
	野球		○		●	●	○	○	○		●	○		○		
	バスケットボール	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
	バレーボール	○		○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	ソフトテニス	○	○	○		●	○	●	○	○	○	○		○	○	
	卓球	○	○	○	○		○		○	○	○	○		○		○
	柔道															
	剣道									○	○	○				
	サッカー	○	○		○	●	○	○			○	○	○	○		○
	バドミントン		○		○	○	○	○			○	○	○	○		
	水泳									○		○			○	
	ダンス									○	○	○			○	○
	硬式テニス				○		○						○			○
	マラソン			○												
	アクティ部											○				
	軽スポーツ部										○					
文 化 部	吹奏楽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	美術・アート	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○
	園芸									○		○				
	調理	○						○								
	囲碁・将棋	○							○	○	○					
	茶道					○			○	○				○		
	華道					○		○				○	○	○		
	理科・実験										○				○	
	数学											○				○
	コンピュータ	○		○		○		○							○	
	英語								○							
	ボランティア						○							○	○	
	演劇				○		○				○			○	○	
	書道		○	○												
	鉄道研究			○												
	ハンドメイド・手芸								○	○						
	伝統文化										○	○				
	創作							○								
	文芸	○														
	地域活動														○	○
	ペン習字							○								
	百人一首								○							
	ものづくり												○			
	競技かるた															○
	雅楽															○
技術					○											
イラスト					○											

東海中学校

連携
グループ

城南小学校・浅間台小学校・
城南第二小学校



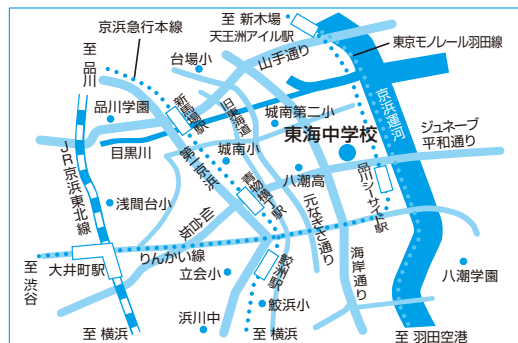
校長 蜂屋 隆子

所在地 品川区東品川3-30-15

TEL 3471-6951 FAX 3471-6370

URL <https://school.cts.ne.jp/tokai/>

アクセス りんかい線「品川シーサイド」駅下車出口Aより 徒歩 5分
京浜急行本線「青物横丁」駅下車 徒歩 10分



求めよう！ 東海中で15歳のあるべき姿を！！

教育目標

己を磨き、よりよい社会を築く人間

1、思いやる心

2、自ら学ぶ姿勢

3、最後までやりぬく力

[校 訓] ○ 誠実

○ 規律

本校の特色

○生徒会から発信

- ・「三菱鉛筆とのコラボ」
水平リサイクル（回収した使い終わったペンから、ペンを）の推進、校内から地域へも。

○「社会に通用する」・「貢献する」ことを目指す生活指導

- ・当たり前のことが当たり前に見える（挨拶・返事・時間を守る・言葉遣い・役割を果たす）
- ・人と人とのかわり、集団として個としての成長を目指す
hyperQU やIチェック等の分析をはじめ、生徒個人・学級や学年集団に対して細やかな対応をする

○進路＝生き方「キャリア教育」の充実

- ・「己を磨く」・・・全校で、己の心を見つめ、向き合う、拭き掃除
- ・人としての生き方・あり方を考えさせる仕掛けの充実（例）赤ちゃんふれあい事業
- ・異年齢・縦割りの活動
例えば、9年～7年へ「礼法指導」・8年～7年へ「校舎案内」行事における取組（体育祭における団旗作りなど）

○学習環境を整え、学力の向上

- ・全校で朝読書を実施し、落ち着いた雰囲気から学校生活をスタート
- ・授業規律を確立し、ICT や様々な工夫をし、学習の定着を図る
- ・学力調査・実力テスト・定期考査をもとに、分析し、自ら振り返り、学習に取り組む

○連携小学校と共に、「賢く、さわやかに！ 自信をもち、将来を語れる子」を目指し一貫教育

- ・クリーンレンジャーやティーチーズボランティアも
- ・品川教育の日をはじめ、情報を共有し、更なる子どもたちの健全育成・成長を目指す



礼法指導



生徒総会



体育祭



拭き掃除

学級数・生徒数

(令和6年5月1日現在)

	7年生	8年生	9年生	合計
学級数	4	3	4	11
男子	82	64	66	212
女子	59	51	58	168
生徒数	141	115	124	380

部活動

運動部	バスケットボール部（男女）、 バレーボール部（男女）、卓球部（男女） 陸上部（男女）、サッカー部、ソフトテニス部
文化部	吹奏楽部、美術部、お菓子部、文芸部、将棋部、 パソコン部

卒業生の主な進学先

都公立高校等	青山 井草 大崎 大森 お茶の水女子大附属 蒲田 北園 駒場 小山台 桜町 城東 新宿 千歳丘 田園調布 東京工業大附属科学技術 戸山 日比谷 広尾 深沢 美原 三田 目黒 八潮 雪谷 園芸 忍岡 芝商業 第一商業 六郷工科 つばさ総合 晴海総合 一橋
私立高校	大森学園 かえつ有明 クラーク国際 慶應義塾 國學院 國學院久我山 駒澤大学 品川エトワール女子 品川学藝 芝国際 下北沢成徳 自由ヶ丘学園 秀明八千代 正則 青稜 専修大付属 多摩大学目黒 貞静学園 東海大学付属高輪台 東京 東京実業、日本工業大学駒場 日本大学第一 日本大学第二 日本体育大学荏原 羽田国際 明治大学付属中野 目白研心 盛岡中央 文教大学付属 法政大学第二 立教新座 立志舎 立正大学付属立正 流通経済大学付属柏 早稲田大学高等学院 早稲田実業 他

※この資料は合格校ではなく、卒業生の進学校の一覧です。



校長 実松 美智代
所在地 品川区西品川3-10-6
TEL 3491-6623 FAX 3491-2653
URL <https://osaki-jh.shinagawa.andteacher.jp/>
アクセス JR各線「大崎」駅下車 徒歩 8分
都営地下鉄浅草線「戸越」駅下車 徒歩 10分
東急池上線「戸越銀座」駅下車 徒歩 12分



1. 生徒数 (令和6年5月1日現在)

	7年	8年	9年	合計
学級数	2	2	2	6
生徒数	66	84	86	236

○情緒固定級(3学級)
○特別支援教室(拠点校)「かしわ」が設置されています。

2. 一貫教育目標

- ◆「磨こう」知恵と判断力
- ◆「鍛えよう」心と体
- ◆「身に付けよう」思いやりの心とルール

大崎中学校グループとして、三木小・芳水小と一貫教育を進めています。生徒一人一人の夢や希望に向かっての努力を応援します。目指す学校像は「落ち着いた、品位と活気のある学校」です。

3. 本校独自の特色ある教育活動

(1) きめ細やかな生活指導

- ・挨拶、返事、言葉遣い、5分前行動など当たり前のことを大切にできるようにします。
- ・朝の出欠確認をはじめ、不登校およびいじめ根絶へ向けて、保護者・関係諸機関と協力して心を耕すことに取り組みます。
- ・生活委員や生徒会役員、教員が毎朝、正門で挨拶活動を行います。

(2) キャリア教育の充実

- ・助産師さんによる命の授業、保育実習などの体験学習を積むことにより、思いやりの心、命の素晴らしさを体感し、人権尊重の精神を育みます。地域企業による職業講話などの他にも、様々な体験活動を組み込み、進路＝生き方について考えさせます。

(3) ボランティアマインドの醸成

- ・区民まつり、お花いっぱい大崎、地域交流レクリエーション、地区運動会など多くの地域行事に生徒がボランティアとして参加し地域の方と深く関わることで、ボランティアマインドを育てます。
- ・地域への参加ができない場合は、生徒会がボランティア活動を企画し、参加者を募って奉仕活動を行うことで、自らの意思で貢献しようとする実践力をつけさせます。

(4) 防災の拠点として地域を守る

- ・地域の総合防災訓練や一斉防災訓練では、避難訓練や安全指導の一環として何かしらの形で生徒を参加させ、災害時などに自分の身を守る方法や社会性、地域での役割について学ばせます。

4. 令和5年度 卒業後の進路 (主な進路先)

・国公立高校

青山 大崎 大田桜台 桐ヶ丘 鷺宮 産業技術高専 志村学園 世田谷総合 千歳丘 筑波大学付属駒場 つばさ総合 田園調布 日比谷 広尾 文京 松原 三田 美原 向丘 目黒 八潮 雪谷 芦花 六郷工科

(50音順)

・私立高校等

NHK学園 大森学園 クラーク国際 慶應志木 KG高等学院 国学院 駒場学園 志成館 品川エトワール 品川学藝 淑徳巣鴨 成蹊 正則 青綾 専修大附属 仙台大附属明成 中央高等学院 東京 日本大学櫻ヶ丘 日本大学第二 日本大学鶴ヶ丘 日本体育大学荏原 日本学園 ヒューマンキャンパス 富士見丘 法政大学国際 法政大学第二 松山学院 明治大学明治 立正大学立正

(50音順)



命の授業



職場訪問



朝の挨拶運動



お花いっぱい大崎ボランティア



大崎第二地域防災訓練

浜川中学校

連携グループ 鮫浜小学校・立会小学校・浜川小学校

浜中

校長 小野 智
所在地 品川区東大井3-18-34
TEL 3761-1014 FAX 3761-3956
URL <https://school.cts.ne.jp/hama-j/>
アクセス 京浜急行本線「立会川」駅下車 徒歩 5 分
JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線「大井町」駅下車 徒歩 12 分



～校区教育協働委員会を中心に、保護者・地域と共につくる学校～

1. 学級数・生徒数

	7年	8年	9年	E組	合計
学級数	3	3	3	5	14
生徒数	103	85	112	34	334

情緒固定級含む。
特別支援教室拠点校
(令和6年5月1日現在)

2. 一貫教育目標

- ◆自ら学び、表現できる児童・生徒の育成
- ◆心を磨き、ルールを守る児童・生徒の育成
- ◆豊かな人間関係を築くことができる児童・生徒の育成
- ◆体を鍛え、健康でたくましく生きぬく児童・生徒の育成

3. 重点指導項目「スローガン」『わかちあい共に生きる』

(1) 自ら学ぶ

- ・数学・英語の少人数習熟度別指導の充実
- ・ICT機器の活用による学習意欲・学力向上（情報モラル教育の重視）
- ・言語活動の充実（作文、スピーチ、ディベート、発表活動など）
- ・国際社会で活躍できる能力の育成（グローバル人材育成成熟、英検支援など）
- ・読書活動推進（朝読書、ビブリオバトルなど）

(2) 心を磨く

- ・自己肯定感の育成（生徒の主体的活動を重視する学校行事、部活動の充実など）
- ・人権教育推進（お肉の情報館の活用、人権強化月間の推進など）
- ・生徒会活動の充実（いじめ根絶への取組、あいさつ運動、ボランティア活動など）

(3) 豊かな人間関係を築く（保護者・地域の教育力活用）

- ・教育相談に充実（二者・三者面談、SC面談）
- ・地域ボランティアの充実（花街道地域清掃、地域センター行事への参加など）
- ・防災教育の充実（PTA・地域町会共催防災訓練、避難所運営訓練など）
- ・赤ちゃんふれあい体験の実施（東大井児童センターと共同実施）
- ・「浜川まつり」「生徒・保護者・地域・教員のしゃべり場」の実施
- ・放課後の学習支援活動の推進（放課後補習、地域未来塾）

(4) 体を鍛える

- ・体育授業の充実（複数指導で活性化）
- ・運動習慣づくり（大縄跳び、1分間エクササイズ、体力向上の取組など）



「ボランティア活動」



「ビブリオバトル」



「学校地域支援本部の活動」

4. 部活動

バスケットボール部・ソフトテニス部・バレーボール部・マラソン部・卓球部
音楽部・美術部・書道部・コンピュータ部・鉄道研究部

5. 進路先（主な合格校）

・都立高校

駒場、桜町、大崎、大森、北園、蒲田、小山台、田園調布、目黒、紅葉川、八潮、園芸、広尾、つばさ総合、工芸、晴海総合、産業技術高等専門学校 など

・私立高校

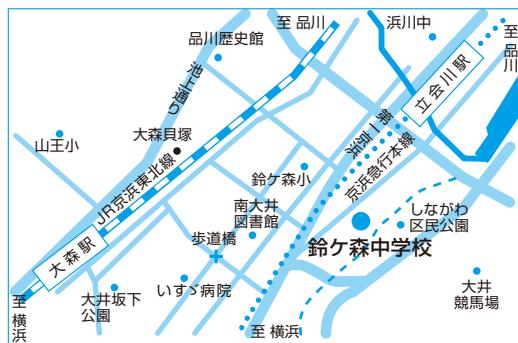
大森学園、品川エトワール、品川学藝、自由ヶ丘学園、正則、東京、東京実業、朋優学院、目黒学院、立正大学付属立正、羽田国際、中央大学、駿台学園、多摩大目黒、早大本庄、N高、S高 など



「標準服」



校長 二宮 淳
所在地 品川区南大井2-3-14
TEL 3765-2849 FAX 3765-2751
URL <https://school.cts.ne.jp/suzu-j/>
アクセス 京浜急行本線「立会川」駅下車 徒歩 10 分
JR 京浜東北線「大森」駅下車 徒歩 15 分



『コミュニティ・スクール 地域とともにある鈴ヶ森中学校』
—学校と地域住民・保護者が一体となって、子どもたちの学びを充実させます—

生徒数 (令和6年5月現在)

7年 116名 3クラス
8年 136名 4クラス
9年 116名 3クラス
計 368名



一貫教育目標

- 自ら学び表現できる人
- 思いやりのある行動ができる人
- 自ら心と体を磨く人



本校の特色

① 指導法を工夫し改善し続ける教員集団

生徒に社会で通用する実行力の育成を目指して、計画を立てさせ、実践させ、チェックさせて、改善させるPDCAサイクルでの指導展開を様々な場面で推進しています。

また、生涯必要な自ら学ぶ態度を育成するため、学習方法の工夫・改善に取り組んでいます。

② 区内有数の広いグラウンドを生かした部活動

品川区内有数の広いグラウンドを生かし、「鍛錬の場」として部活動が充実しています。部活動を通して、誇りと責任をもたせ、礼節を守る心や向上心、協調性などを伸ばします。(令和6年度業務委託部活動

陸上競技部・硬式テニス部・イラスト部)

③ 多様性を学ぶ教育活動

ブラインドサッカーなどの体験授業を継続し、障害者理解教育を推進します。また、大使館交流などで異文化を知り、障害者理解教育とともに多様性を学びます。



④ 主体性と実行力を育む学習活動

日々の学習活動や学校行事、部活動など、生徒一人一人の自主性を尊重し、教員が支援します。主体的に考え行動することで、社会で活躍できる「実行力」を育成します。



⑤ 読書活動の推進

毎朝、学活前の読書活動に取り組み、一日の学校生活が、静かに始まります。日々の読書活動に加え、ビブリオバトルやブックトークなどの様々な取組を通して、読書活動を推進しています。

卒業生の進路

<都立高校・国公立高校>

園芸・大崎・大田桜台・北園・駒場・小山台・桜町・芝商業・墨田川・世田谷総合・第一商業・竹台・つばさ総合・田園調布・晴海総合・広尾・三田・美原・向丘・目黒・八潮・雪谷・芦花・六郷工科・大森定時制・産技高専 ほか

<私立高校・通信制高校>

愛国・大宮開成・大森学園・関東第一・慶應義塾・慶應義塾女子・駒込・駒場学園・品川翔英・自由ヶ丘学園・自由ヶ丘正則学園・正則・多摩大学目黒・中央国際・中央大学杉並・帝京・東海大学附属高輪台・東京・東京実業・東洋・錦城学園・日本工業大学駒場・日本体育大学荏原・羽田国際・福知山成美・目黒学院・目黒日本大学・立正大学附属立正 ほか

富士見台中学校

連携
グループ

伊藤小学校・上神明小学校



校長 石黒 晋

所在地 品川区西大井5-5-14

TEL 3772-0900 FAX 3772-0715

URL <https://school.cts.ne.jp/fujimi/>

アクセス JR横須賀線・湘南新宿ライン「西大井」駅下車 徒歩10分
都営地下鉄浅草線「馬込」駅下車 徒歩6分
東急大井町線「中延」「荏原町」駅下車 徒歩15分



【教育目標】 自己実現を可能にする生徒の育成

学年のまとめ
ことの指導目標

《第7学年》

- 自己存在感を与え、共感的な人間関係を養うことに加え、自己決定の機会をより多く与えることで、意欲を育て、社会の一員である自覚を高める。

《第8・9学年》

- 自己存在感の高揚、共感的な人間関係の構築、自己決定力の向上により、主体的に問題解決を図る自己指導力を育成し、自主・自律の志を育む。

伊藤小学校・上神明小学校と一貫教育を推進しています

指導の三本柱

○ 自己存在感の高揚

○ 共感的な人間関係の構築

◎ 自己決定機会の設定

自己実現を可能にする生徒

多数の部活動を設置！少数精鋭で素晴らしい成果を上げています。

★部活動指導員による「ダンス・レクリエーションサークル」

令和6年度 設置部活動

<運動系>

野球（男）／サッカー（男）／バスケットボール
バレーボール（女）／ソフトテニス（男）／バドミントン

<文化系>

吹奏楽／華道・茶道／アート／パソコン



本校の特色

指導方針

部活動等

卒業生の進路

希望する進路の実現 令和5年度卒業生

都立高校	都内 私立高校	他県高校	高等専門学校 その他	合 計
36	38	4	3	81



学級数・生徒数

令和6年5月1日現在

学 年	7 年	8 年	9 年	合 計
男 子	46	40	40	126
女 子	35	30	40	105
合 計	81	70	80	231
学級数	3	2	2	7

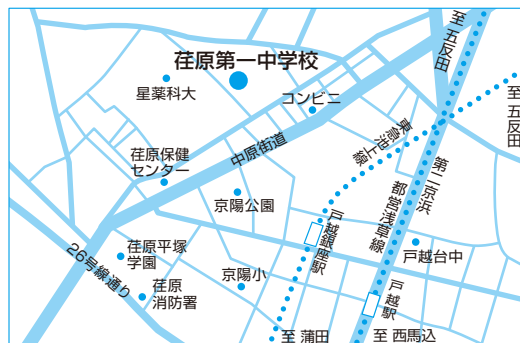


荏原第一中学校

連携グループ 後地小学校・小山台小学校・第四日野小学校



校長 黒田 佳昌
 所在地 品川区荏原1-24-30
 TEL 3785-1680 FAX 3785-1737
 URL <https://school.cts.ne.jp/ebara1/>
 アクセス 東急池上線「戸越銀座」駅下車 徒歩 5 分
 都営地下鉄浅草線「戸越」駅下車 徒歩 7 分



文武両道に秀で、地域の誇りとなる学校

1. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、「共生社会の実現に参画し、生き抜く生徒」の育成を教育目標に掲げ、人権を尊重し、学ぶ喜びと主体性をもち、自らの学力、人間性、体力を高めようとする生徒の育成を目指しています。

学校経営の基本方針として

(1) 心を磨き耕す

理想(夢)をもち、深く考え、自分を向上させる生徒

(2) ルールを尊重し守る

社会や学校のルールを守り、正しく行動し、正しいことを主張できる生徒

(3) 人との関係を大切にす

あいさつや返事ができ、より良い人間関係を構築できる生徒

の3つを示して教育活動を展開しています。



生徒会マスコット「エバード」

・「運動会」「学習成果発表会」では、生徒が自ら荏原一中の伝統を継承し発展させるために、生徒実行委員会を中心に、準備や練習、運営に取り組み、役割を果たす実践を進めています。



伝統の9年生大円陣

○特色ある行事・授業

・防災体験学習、D級ポンプ操法訓練、防災マップ作り、区民まつりスタッフなど、「地域で学ぶ」「地域と学ぶ」「地域に学ぶ」活動を進めています。

2. 本校の特色

○令和6年度入学生徒の状況

本中学校グループとして一貫教育を進めている後地小・第四日野小・小山台小の生徒が5割を占め、本校の教育活動を希求し学校選択制などを利用した連携校以外の18校の小学校からの入学生が5割を占めています。

○学力向上に向けて

- ・全ての教科で、生徒に、「学習カード」「補助簿」などを提示し、学習のガイダンス機能を充実させて、学習課題の確認と課題改善を進めています。
- ・全ての教科で、家庭学習がしなくなる授業づくりを実施して指導を振り返るとともに、生徒に、「テストを終えて」を提示して、指導の課題の確認を行い、改善を進めています。
- ・全ての教科で、学期ごとの学習目標を設定し、生徒が学習計画表を作成し実践していくことによって、目標の設定と課題改善など、DR-PDCAのサイクルの習得を進めています。

○実践力の育成・向上について

- ・生徒会が、課題改善活動の予算として、生徒会費、区民まつりの収益金などを運用するとともに、予算案の作成、予算執行、会計処理、会計報告などに取り組み、責任ある自主的な活動を進めています。

3. 部活動 (令和6年度)

バスケットボール部・バレーボール部・サッカー部・硬式テニス部・ソフトテニス部・野球部・陸上部・卓球部・バドミントン部・美術部・演劇部・吹奏楽部・ボランティア部の13の部があります。

上記の部活動のうち、今年度「ソフトテニス部」「硬式テニス部」は、学校部活動の業務委託により、「(株)リーフラス」が全体の活動を請け負っています。

多くの部活動で生徒たちが主体的に活動をして、運動部では都大会出場を果たしている部活動が数多くあります。

また、PTAのご協力により、古紙回収の収利益を各部活動の活動費として配当していただくなど生徒たちの活動を支えていただいています。

4. 卒業生の進路 (令和6年3月卒業)

国立高進学	1人	専修学校進学	0人
公立高進学	90人	海外校進学	2人
私立高進学	82人	その他	0人
高等専門学校進学	0人	合計	188人
通信制学校進学	13人		

生徒が自ら進路先を選択し、第一志望合格を目指す過程の中で、進路先で活躍できる力の習得を目指しています。

5. 学級数・生徒数 (令和6年5月1日現在)

学 年	7 年	8 年	9 年	合計
学級数	5学級	5学級	5学級	15学級
生徒数	152名	163名	163名	478名

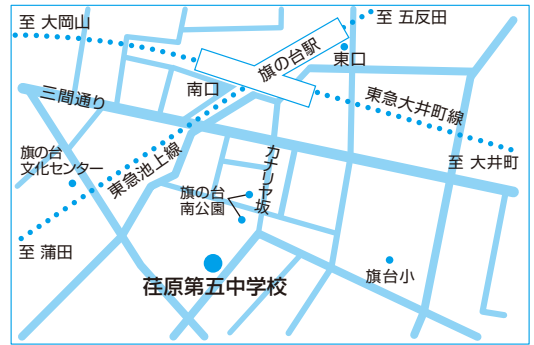
区内中学校では、生徒の在籍数が最も多い学校です。

荏原第五中学校

連携グループ 源氏前小学校・旗台小学校・清水台小学校



校長 伊藤 恵造
所在地 品川区旗の台5-11-13
TEL 3781-5643 FAX 3781-5810
URL <https://ebaras5-jh.shinagawa.andteacher.jp/>
アクセス 東急大井町線・池上線「旗の台」駅下車 徒歩3分



誇り高い生徒を育てます

1. 教育目標

知

○教養ある人

徳

○心豊かな人

体

○健康な人

五中校区の小学校と共通視点に立ち、義務教育の9年間を通して、「自ら学び、自ら行動する児童・生徒の育成」を目指します。

【目指す生徒の姿】

1. 人権尊重の精神や姿勢・態度が身に付いている生徒
2. 確かな学力と社会性が身に付いている生徒
3. 豊富な成功体験により自己肯定感を得られる生徒
4. 自らの個性や能力を存分に発揮し、最後まで粘り強くやり抜くことができる生徒

【基本方針】

- ◎基礎・基本の確実な定着により、学びを深める学習を実践するとともに、義務教育9年間の系統性を重視した指導を行います。
- ◎小学校との合同研究推進部を設置し、カリキュラムマネジメントに基づく系統的な学習指導を組織的に推進します。
- ◎市民科による系統的な人間教育に取り組み、道徳的実践力や社会的判断力・行動能力・集団適応力・自己理解力、コミュニケーション能力を身に付けさせます。
- ◎コミュニティ・スクールとして保護者や地域と連携した教育活動に取り組み、開かれた学校づくりを目指すとともに、生徒の自主性・自律性・行動力を育成します。
- ◎学校行事や生徒会活動などの体験活動を通して、社会性・公徳性・共生の精神を育みます。

2. 本校の特色

【学力の定着に向けて】

1. 小教室などの施設を有効に活用して、英語・数学で少人数や習熟度に応じた授業を行います。
2. 毎朝10分間の読書に取り組みます。
3. 卒業後の進路保証に向け、定期考査のほか、各種学力調査や意識調査を活用して各教科の指導方法の改善を図り学力の定着と向上に努めます。
4. 品川地域未来塾やグローバル人材育成塾を通して、個々の課題に対する支援を行います。

【地域の学校として】

- ①品川コミュニティ・スクール
学校地域コーディネーターを中心に教育活動の充実を図ります。
- ②「地域奉仕活動」
生徒会主催の「月例地域清掃」や小学生とともに、地域の清掃活動に取り組みます。
- ③積極的な「ボランティア活動」
地域の夏祭り屋台販売、もちつき大会、小学生マラソン大会などのボランティアに、地域の学校として貢献します。



地域清掃

3. 施設

【校庭】

1周130mのトラックがとれる広さがあり、人工芝の校庭のため、体育、昼休み、放課後の部活動など運動時間の確保ができます。



学び舎

【アリーナ（体育館）】

アリーナ1は体育館として体育、儀式的行事、部活動等で、アリーナ2は武道場、講演会、対面式等で活用するなど、幅広い用途に合わせた屋内施設があります。

【その他】

メディア機器のある多目的室、1万冊の蔵書があるメディアセンター、4つの小教室、ITルーム（パソコン室）などがあります。



メディアセンター

4. 卒業生の進路

主に公立高校に進学する傾向が高いですが、私立高校や専門性を身に付ける各種学校に進む生徒もあり、自己の適性や興味・関心に応じた進路指導をキャリア教育の視点から系統的に進めています。

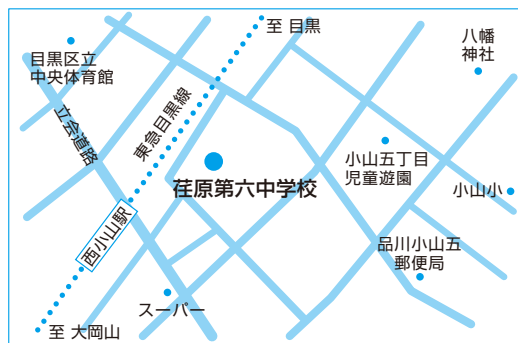
5. 学級数・生徒数（令和6年5月1日現在）

	1組	7年	8年	9年	合計
学級数	2	4	4	4	15
生徒数	10	129	133	129	401

荏原第六中学校

連 携
グ ル ー プ 小山小学校・第二延山小学校

校 長 稲葉 慶太
 所在地 品川区小山5-20-19
 TEL 3781-7776 FAX 3781-4315
 URL <https://school.cts.ne.jp/ebara6/>
 アクセス 東急目黒線「西小山」駅下車 徒歩3分



家庭・地域・学校 ～未来を創造する生徒を育てる～

1. 学級数・生徒数 (令和6年5月1日現在)

	7年	8年	9年	合計
学級数	3	3	3	9
男子	40	37	50	127
女子	34	44	54	132
生徒数	74	81	104	259



荏原第六中学校 校舎

2. 教育目標

- ◆自ら考え挑戦する生徒
- ◆礼儀正しく、誠実で思いやりのある生徒
- ◆心身ともに健康で社会に貢献できる生徒

3. 充実した学習指導と個に応じた学習

◆きめ細やかな学習指導 (1人1台のiPad)

数学・英語では、全学年において少人数指導を実施しています。また、全教室にICT機器が整備され、大型スクリーンやiPadを活用して、図や写真を効果的に掲示した授業の工夫や改善を図っています。



ICT機器を活用した授業 (社会)

◆家庭学習の習慣を定着

家庭学習の習慣を身に付けるため、家庭学習のノートを毎日実施しています。それぞれが自分に必要な学習課題を見付け、取り組んでいます。未来塾では、定期考査の前に放課後の自主学習教室を実地しています。

4. 特色ある教育活動

◆市民科学や学校行事

恵まれた学習施設を活用して、多くの体験学習を行っています。和室では茶道体験を全学年で実施します。地域の力を生かした六中寺子屋や職場体験を行います。

◆生徒会活動

生徒会が中心として5つの委員会があり、より良い学校生活に向けて自主的に取り組んでいます。(代表委員、規律委員、美化委員、図書委員、保健給食委員)

◆ハートウォーミング六中

荏原六中の誇るボランティアグループです。あいさつストリート清掃、募金活動、あいさつ向上運動、花いっぱい運動をしています。



特色ある教育活動 (茶道体験)

5. 部活動

◆運動部

バスケット、ソフトテニス、野球、ダンス、卓球

◆文化部

吹奏楽、美術、手芸、百人一首、将棋、茶道、英語 (ESS)



生徒会活動 (生徒総会)



校長 栢之間 晃
所在地 品川区戸越1-15-23
TEL 3781-6250 FAX 3781-0895
URL <https://school.cts.ne.jp/togosi-j/>
アクセス 都営地下鉄浅草線「戸越」駅下車 徒歩 3 分
東急池上線「戸越銀座」駅下車 徒歩 5 分



〇すすんで学ぶ 〇心豊かに 〇たくましく

1. 学級数・生徒数 (令和6年5月1日現在)

	7年	8年	9年
学級数	3	3	3
男子	34	50	46
女子	58	49	43
合計	92	99	89

～地域の誇り戸越台中～



2. 教育目標

【指導の重点】

「誰一人取り残されことなく、一人一人のもつ可能性を引き出すことを目指して」

1 進んで学ぶ生徒の育成

- ◆「主体的に参加できる」「身についたことが実感できる」授業を目指し、基礎・基本の定着を図ります。
- ◆ICT機器等を活用して「分かり易く」「興味・関心を高める」授業を目指し、個別最適な学びを推進します。
- ◆「多様な考えを共有する」「協力して課題解決にあたる」授業に取り組み、協働的な学びを推進します。

2 心豊かな生徒の育成

- ◆物事を相手の立場から見たり考えたりすることのできる、広く大きく豊かな心の成長を目指します。
- ◆上級生が下級生の手本となることの自覚を高め、リーダーシップ・フォロワーシップを育てます。
- ◆多様な価値観に触れる機会として、合築の戸越台特別養護老人ホームや近隣の保育園と交流活動をおこないます。

3 たくましい生徒の育成

- ◆自分の目標実現に向けて、望ましい生活習慣・運動習慣を身につけ、強い意志と健康な体を育みます。
- ◆職場体験・上級学校訪問とその準備の取組において、社会に通用するマナーや知識を身につけます。
- ◆将来を見通し自らの判断で進路選択が進められるように、3年間の系統的なキャリア教育に取り組みます。

3. 特色ある取組

【生きる力】 基礎・基本を大切に授業、これからの社会生活に必要な学力をつける授業を各教科工夫して行います。市民科一貫プラン戸越台グループとして、京陽小、宮前小と共に(目指す生徒像)自らの将来を自分で決められる子、社会のつくり手になれる子の育成を目指し、キャリア教育を大きな柱として、教科・市民科・行事等、様々な教育活動の中で、生きて働く力を身につけさせます。

【交流】 戸越台特別養護老人ホームと併設の特色を生かし、「七夕交流会」などの季節的な行事、夏季休業中の「ボランティア体験」など高齢者との交流を行います。また、市民科を始め、各授業、学校行事を通して、福祉の心やボランティア精神を育てています。

【伝統】 特色ある行事や市民科、各教科の授業の中で日本の伝統と文化を大切に教育を行い、「礼儀・思いやり・責任を重んじ、品格のある行動がとれる生徒」の育成を目指しています。

【地域】 品川コミュニティスクールとして、近隣商店街、神社、小学校、保育園、児童センター、地域センター、警察署、消防署等、地域の特性を活かしたコミュニティスクールとして、地域との絆を大切にしていきます。

4. 卒業生の進路 (令和5年度卒業生進学先)

- ◆公立 小山台・三田・青山・国際・田園調布・雪谷・駒場・豊多摩・広尾・桜町・大森・蔵前工科・芝商業・蒲田・つばさ総合・大田桜台・六本木・総合工科 他
- ◆私立 早大高等学院・法政国際・東海大学附属高輪台・東京農大一・日大第二・立正大附属立正・東洋・堀越・正則・青陵・岩倉・富士見丘・品川翔英 他

5. 部活動 (令和6年度)

- ◆女子バレーボール、男女バスケットボール、男女ソフトテニス、剣道、水泳、卓球、吹奏楽、美術、ハンドメイド、茶道、囲碁・将棋、園芸

6. 標準服 ほか

- ◆令和5年4月1日より新標準服に変わりました。
- ◆ブレザー型の3タイプ、スカートとスラックス、リボンとネクタイは選択できます。
- ◆(夏)上衣は、白と紺のポロシャツとセーラー服から選べます。
- ◆共通 指定のリュック、通学用靴(運動靴、ローファー)
- ◆指定体操着 ジャージ、半袖シャツ、ハーフパンツ





校長 堀井 昭宏

所在地 品川区東五反田2-11-1

TEL 3441-3209

FAX 3441-3246

URL <https://school.cts.ne.jp/hinogaku/>

アクセス J R山手線「五反田」「大崎」駅下車 徒歩 5 分

都営浅草線・東急池上線「五反田」駅下車 徒歩 6 分



教育目標

国際社会で自己実現を果たす子ども

○学力の育成

「自学自習の体得」を目指し、個に応じた指導を多様に展開しています。

また、9年生での進路選択の幅が広がるように、9年間で系統的に捉えた本校独自のカリキュラム（日野カリキュラム）を作成し、実践しています。

○生活力の育成

義務教育学校の良さを生かし、多様な関わりを経験させながら豊かな人間関係を育成します。「時を守る」「環境を整える」「礼を正す」を教育活動の根底に据えて指導を行い、高い規範意識の育成に努めています。

日野カリキュラムの実践

【英語】

1年生～4年生 週1時間
5・6年生 週2時間
7年生～9年生 少人数指導

【算数・数学】

2年生～9年生 少人数指導
6・7・8年生

次学年の単元を一部学習

【ゆとりある授業時間数】

- ◆1年生～4年生 根っこの時間（週5回×15分）
- ◆5年生～9年生 50分授業（教科担任制）
- ◆5年生～9年生 日野学タイム（週5回×10分）

【進路対策】

◆8年勉強宿泊（2泊3日）

後期課程の教員と10人程度の指導助手が生徒一人一人に応じた学習指導を行います。受験に向けての勉強の仕方や心構えなどを、学ぶことができます。

◆質問教室

（定期考査前の放課後30分程度）希望者は、各教科担当教員から個別に教わり理解を深めます。

◆校内学習

確認テスト7・8年で1回、9年で3回実施。

◆品川地域未来塾

自学自習を目的に5年生以上で月3回程度実施。

【日野学園は進学指導に力を入れています】

卒業後の進路（令和5年度 国公立高校）

青山、井草、園芸、大崎、大島海洋、大田桜台、大森、蒲田、国際、駒場、小山台、鷺宮、桜町、第一商業、つばさ総合、田園調布、西、農芸、晴海総合、一橋、日比谷、広尾、三田、美原、本所、目黒、雪谷、六本木、お茶の水女子大学附属、東京工業大学附属科学技術



後期課程教員による
6年生の家庭科授業



多様な交流活動

◆B & S 活動（Brother&Sister）

1～9年で決めた兄弟学年において、運動会や文化祭、学習成果発表会などを通じた交流も行っています。「上級生が模範」を示していく事で、下級生は憧れを抱き、より良い人間関係の育成に役立っています。



◆たてわり交流活動

1～4年（いちよん）、5～7年（FSS）、8・9年（EN）では各ブロック内で、縦割り班を作り、合同行事など積極的な交流活動をしています。

◆特別支援学級との交流

運動会や文化祭では交流委員会が企画し、特別支援学級との交流種目や交流合唱などがあります。

また、交流授業もあり関わりを深めることができます。

◆地域との交流（五反田地域清掃・ラーメン教室に参加）



文武両道（行事・部活）

【日野学1-4・5-9運動会】



【合唱コンクール】



【5年生から参加できる部活動】



【ブラインドサッカー体験】



【伝統文化体験】





シンボルマーク



校章

校長 野口 大和

所在地 品川区大井5-1-37

TEL 3771-3374

FAX 3771-0944

URL <https://itogaku.shinagawa.andteacher.jp>

アクセス JR横須賀線・湘南新宿ライン「西大井」駅下車 徒歩7分
JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線「大井町」駅より
バス「西大井駅」行き「伊藤学園」下車 徒歩1分



ミッション

自律する力を身に付けた、他者を尊重し、社会や地域に貢献する人材（区民）を育成します

教育目標

- 自学求道「かしこく」自ら学び生きる道を切り開く人を育成する（主体的に学ぶ力）。
- 切磋琢磨「なかよく」互いに磨き合いながら生きる人を育成する（豊かな社会性）。
- 至誠一貫「ねばりつよく」忍耐強く誠実に責任を果たす人を育成する（自律し貢献する力）。



目標達成に向けた指導の重点

〈学力向上〉

- 授業と家庭学習の一体化による基礎・基本の学力の確実な定着
- 探究的な学びと情報活用能力の系統的な学びによる主体性をもった子どもの育成
- 5年生以上の教科担任制の実施



日常的にタブレットを活用した授業

〈豊かな人間性と社会性の育成〉

- 共感と協働を基盤とした学級、学年経営、学校運営の推進
- 子ども主体の係活動や委員会活動、学校行事運営の推進
- 異学年交流を通したリーダーシップ、フォロワーシップの育成



ボランティアとして地域事業に参加

〈一人一人の幸せを守り育てる支援体制の充実〉

- 特別支援に係る教育および相談の充実と医療的ケア等の支援体制の整備
- 不登校および別室登校等の子ども・家庭への支援体制の充実
- 「いじめ予防プログラム」によるいじめ未然防止の取組と実践



いじめ予防プログラム「ディケン」

卒業生の主な進路先

都立高校等 日比谷、青山、国際、三田、小山台、駒場、戸山、西、新宿、雪谷、田園調布、目黒、大崎、八潮、城東、広尾、工芸、美原、産業技術高専、つばさ総合、大島海洋、芝商業、第一商業、永福学園、港特別支援など

私立高校 慶應義塾、慶應義塾女子、早大高等学院、早大本庄、國學院、法政大学法政第二、法政大学国際、駒澤大学、東海大高輪台、日本大学鶴ヶ丘、青稜、品川翔英、明治学院、関東国際、駒場学園、大森学園、自由ヶ丘学園、東京、東京実業、日体大荏原、明治大学附属中野、専修大学附属、多摩大目黒、科学技術など

児童・生徒・学級数（令和6年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援学級		合計
										1～6年	7～9年	
児童・生徒数	92	86	92	82	86	69	145	135	122	11	18	938
学級数	3	3	3	3	3	2	4	4	4	2	3	34

★ 令和7年度より標準服・体操服をリニューアルいたします。デザイン等は決定しましたら、学校HPに掲載いたします。



校長 夏井 真一

所在地 品川区八潮5-11-2

TEL 3799-1641

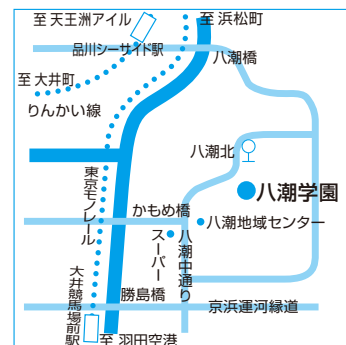
FAX 3799-1643

URL <https://yashigaku.shinagawa.andteacher.jp>

アクセス JR京浜東北線「大井町」・JR各線「品川」駅からバス「八潮北」下車 徒歩2分

りんかい線「品川シーサイド」駅下車 徒歩15分

東京モノレール「大井競馬場前」駅下車 徒歩15分



2024-2025 品川区立八潮学園グランドデザイン

令和6年度 品川区教育委員会の目標

誰もが取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向け、子どもたちが持続可能な社会の担い手として、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かに成長し、希望に満ちた未来を自ら切り拓いていくように、「豊かな心を育み、人権を尊重するための教育の推進」「豊かな学力の育成」「グローバル社会における人材の育成」「学校・家庭・地域の連携・協働による教育力の向上」「生涯学び、活躍できる環境の整備」



八潮地区唯一のコミュニティ・スクール 義務教育学校 R5・6年度品川区研究学校

夢と力 (Agency) を育む 児童生徒を主語にした学び舎

ふるさと八潮

Agency発揮

八潮地区に根差したウェルビーイング
持続可能な社会の創り手

Agency：自ら考え、主体的に行動して、
責任をもって社会変革を実現していく力

社会・上級学校（16歳→）

都立科学技術高等専門学校
各上級学校・各事業所
関係諸機関・ボランティア

89ブロック（14歳→15歳）

自ら学び創造力のある児童生徒

知力

徳力

体力

健康でたくましい児童生徒

2030 TARGET

Smart School with Tech for Well-being in Shinagawa Yashio

5-7ブロック（11歳→13歳）

1-4ブロック（7歳→10歳）

よく考える子

心やさしい子

明るく元気な子

学級担任制・交換授業・専科授業

教科担任制授業

完全教科担任制授業

前期課程

後期課程

就学前（0歳→6歳）

八潮すこやか園・保育園
児童センター・保健センター等

令和6年度 教育課題への経営の重点

○「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した知識構成型ジグソー法による校内研究 ○福祉諸機関の連携と2軸3輪4層の生活指導推進
○いじめ防止対策の推進 ○不登校児童生徒への学びの保障推進 ○DX推進による情報発信の向上 ○IWC新規併設によるグローバル化推進



学習成果発表会



異学年「給食交流」



運動会

主な進学先

●国公立

筑波大学附属坂戸・小山台・美原・大崎・六郷工科・大森・深沢・八潮・芝商業・蒲田・上野・広尾・城東・国際・駒場・戸山・目黒・田園調布・小台橋・つばさ総合

●私立

大森学園・立正大立正・品川翔英・東京都市大学塩尻・朋優学院・品川エトワール女子・日本大学鶴ヶ丘・東洋大学京北・目黒日本大学・東京・駒澤大学・N高等学校・飛鳥未来さすな・中央学院・錦城学園・正則・東洋・足立学園・武蔵野大学附属千代田・暁星国際・東京実業・専修大附属・立志舎・広尾学園小石川・日本体育大学荏原



校長 上田 享志

所在地 品川区平塚3-16-26

TEL 3782-7770

FAX 3782-9137

URL <https://school.cts.ne.jp/ebahi-g/>アクセス 東急池上線「戸越銀座」駅下車 徒歩 7 分
東急目黒線「武蔵小山」駅下車 徒歩 10 分

【児童生徒数】(令和6年5月1日 現在)

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	前期課程 4組	7学年	8学年	9学年	後期課程 5組	全校合計
学級数	3	3	3	3	2	2	3	3	3	3	3	31
男子	46	41	31	35	37	43	16	59	41	46	8	403
女子	46	37	44	36	22	30	4	42	43	43	9	356
計	92	78	75	71	59	73	20	101	84	89	17	759

チームえばひら（教育目標と本校の特色）

好 学

～学習に熱心に取り組む～



誠 意

～万人に真心を尽くす～



鍛 錬

～自ら心身を鍛える～



【学力の定着と向上・自学自習の体得】

- 指導助手による支援や習熟度別学習、放課後補習教室などを展開し、個に応じた指導を進めています。
- 放課後補習教室では、受験対策としての「えばひら合格塾（英語と数学）」や英語に親しむことから始める「英語教室」などを展開しています。
- 5 年生から教科担任制を入れたり、定期考査を実施したりすることで、後期課程へスムーズに移行できるようにしています。

【多様な関わりと豊かな人間関係づくり】

- 9年間のつながりを意識した市民科学習を展開し、系統的に人間性や社会性を育みます。
- 市民科学習では、日本文化の礼儀作法を知る機会として、「茶道教室」を全学年で実施しています。
- ふれあいボランティアパスポートを活用したボランティア活動を積極的に行い、目的・共助の力を身に付けさせます。
- 異学年交流（1～4 年にこここ班活動・交流遊び・地域清掃など）を通して、思いやりの心を育みます。

コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは「地域とともにある学校づくり」を目指し、学校と地域が連携・協働し継続性を保ちながら子どもたちを育てていく教育活動です。本校では、ボランティアの力を活用して、「茶道」「学校花壇」「図書」「学習支援」など、子どもたちのより良い体験学習の手助けをしています。

【主な進学先（過去3年間）】

国公立	日比谷	小山台	三田	雪谷	田園調布	大崎	八潮	大森	杉並
	戸山	青山	駒場	目黒	広尾	桜町	深沢	国際	第一商業
	西	豊多摩	世田谷総合	六郷工科	科学技術	園芸	晴海総合	つばさ総合	千早
	大田桜台	新宿山吹	六本木	一橋	城東	鷺宮	竹早	東工大附属	ほか
私立	専修大附	関東国際	錦城学園	法政大	自由ヶ丘学園	國學院	国士館	駒澤大学	明治学院
	東京実業	品川エトワール女子	品川翔英	東洋	多摩大目黒	淑徳	成城学園	正則	青稜
	目黒学院	創価	桐朋	文教大附	都市大等々力	京華女子	東海大菅生	東海大高輪台	東京
	大森学園	東農大一	あずさ第一	立正大附立正	法政国際	芝国際	二松學舎大附	S校	日体大荏原
	日本ウェルネス	日大鶴ヶ丘	目黒日大	国際基督教大学	朋優学院	駒場学園	中央大学	早大本庄	ほか



SHINAGAWA
GAKUEN

校長 小宮山 琢磨
所在地 品川区北品川3-9-30
TEL 3474-2671 **FAX** 3474-2673
URL <https://shinagaku.shinagawa.andteacher.jp>
アクセス 京浜急行本線「新馬場」駅下車 徒歩3分
JR各線「大崎」駅下車 徒歩12分
東急バス「新馬場駅前」下車 徒歩3分



自他のウェルビーイングの向上を目指し社会をよりよく変え、支える人材を育てる

歴史と伝統のある品川の地で、地域社会を担う一員としての自覚をもち、社会の中で自己実現を図りながら、しながわに生き抜く児童・生徒の育成を図るために、義務教育9年間の連続した教育の創造に努めます。

教育目標

- 学ぶ力**——学び続けるための「基礎力」「思考力」「実践力」を身に付けます。
第1～4学年：基礎力、学習技能・規律の定着
第5～7学年：活用力、学習習慣の徹底
第8・9学年：展開力、自学自習能力の伸長
- 豊かな心**——認め合う人権感覚、人権意識を身に付けます。
第1～4学年：社会性の基礎づくり
第5～7学年：よりよい人間関係の構築
第8・9学年：社会人としての素養を獲得
- 健やかな体**——心身の健康を自分で守る態度を身に付けます。
第1～4学年：健康な生活、運動習慣の定着
第5～7学年：鍛錬と健全な心の発達
第8・9学年：たくましい心身の育成

進路指導

職業調べ、職場体験など、市民科を通して体験的に学習します。卒業生の体験を聞く会、進路説明会の開催など上級学校への進学指導も計画的に実施しています。

○主な合格校

日比谷、小山台、青山、戸山、三田、広尾、目黒、雪谷、大崎、美原、慶應義塾、慶應女子、早稲田大学高等学院、明治大学付属中野、中央大学、明治学院、東海大学付属高輪台、國學院、文教大学付属朋優学院、品川翔栄、正則、東京 ほか

特色ある教育活動

○1～9、4～5、4～3～2のまとまりを生かす教育課程・施設

第1～4学年（1・2階）総合型教室

学級担任制 45分授業 縦割り班活動による4年生のリーダーシップ 引継式 緑化隊活動を実施

第5～7学年（3階）セミオープン型教室

教科担任制 50分授業 5年生からの児童生徒会活動への参加 7年生としてのリーダー性の育成 立志式を実施

第8・9学年（4階）教室および小学習室型

教科担任制 一部選択授業 連合自治会活動による地域行事への積極的な参加、社会参画

1万㎡のグラウンド・学年で使える多目的スペース・

2フロアの学校図書館・25㎡×6コースの温水プール

○特別支援教育の充実

- ・1～9年生の特別支援学級を併設
- ・特別支援学級と通常級との交流による相互理解
- ・都立品川特別支援学校との交流

○市民科等を活用した教育活動

- ・市民科4つの柱「めざす子どもの姿を達成するための4本柱」
1自己理解 2他者理解 3崇高な生き方 4社会性・将来性の育成
- ・近隣連携園と児童との交流、生徒の保育体験
- ・国際理解教育の推進
姉妹校ライマンモア校（アメリカ）との定期交流やオリンピック・パラリンピック教育「世界ともだちプロジェクト」パークハウススクール（イギリス）との交流活動

○部活動

プロジェクト活動：世界ともだちプロジェクト、地域まちづくりふるさと交流プロジェクト、北品川第二保育園

文化系：吹奏楽部、美術部、パソコンメディア部、科学部、演劇部

運動系：バスケットボール部、ソフトテニス部、水泳部、女子バレーボール部、陸上部、ダンス部



入学式・後期課程始業式



運動会（5～9年）



書初め大会（1～6年）



立志式（7年）

児童・生徒・学級数

（令和6年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援 1～9年	合計
児童生徒数	110	115	127	123	120	134	117	133	112	44	1135
学級数	4	4	4	4	4	4	4	4	3	6	41



校長 柳岡 裕幸
所在地 品川区二葉1-3-40
TEL 3782-2930 FAX 3782-1497
URL <https://hoyonomori.shinagawa.andteacher.jp>
アクセス 東急大井町線「下神明」駅下車 徒歩 3分



児童／生徒数（令和6年5月1日現在）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援学級		合計
児童・生徒数	93	94	97	96	92	89	141	141	152	23	16	1034
学級数	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	3	36

校訓

進 取 ・ 忠 恕 ・ 壮 健

学校理念

MAKE EVERYONE SMILE

教育目標

- ・自分の将来を見据え、自らすすんで学ぶ（知）
- ・自分に誠実に向き合い、他者に思いやりの気持ちをもつ（徳）
- ・将来を築くための良い習慣を身に付けるとともに、心身の健康増進に努め、命を守る（体）

目指す児童・生徒像

未来を創造する協働的リーダーシップ
困難を乗り越えるレジリエンス

15年間教育の推進



○二葉すこやか園（二葉幼稚園・二葉つばみ保育園）と連携を強化し、15年間一貫した教育を推進します。

本校の標準服



○全ての児童・生徒が、豊葉の杜学園で協働して学ぶという一体感を育てるためのツールとして活用しています。

施設の充実



○人工芝の校庭で思い切り運動することができます。
○温水プールを活用し、年間を通した水泳指導を実施します。
○和室を活用し、茶道や箏を指導します。

多様性理解・多文化共生の推進



○多様な価値観や文化を尊重する態度や運動・スポーツに親しむ態度、思いやりの心を育てます。

異学年交流



○1年生から9年生が、様々な行事で関わり合い、互いを認め合います。
○保幼小ジョイント事業として、二葉すこやか園および連携園と保幼小交流を実施しています。

特色ある教育活動（行事）



○1年生から4年生まで、5年生から9年生までに分かれて運動会・学習成果発表会を行います。各学年の発達段階に合わせ、集団での達成感を味わわせます。1年生から9年生までが温かく交流する姿が見られます。

5年生から参加できる部活動



○技能や技術を高め、個性を伸ばします。
☆運動部 サッカー・陸上・卓球・バスケットボール・バレーボール・テニス・ダンス
☆文化部 雅楽・吹奏楽・数学・美術・競技かるた・地域活動

品川コミュニティ・スクールの取組



○児童・生徒が特技や好きなことを伸ばし、互いに高め合うことのできる取組を行っています。
☆HYM科学研究所、HYM Advanced English Club、HYM計算道場など

地域貢献



○市民科で学んだ力を地域や社会で発揮する児童・生徒を育てます。

令和5年度卒業生 合格校一覧

【国公立・都立高等学校】浅草、大崎、大田桜台、大森、科学技術、蒲田、駒場、小山台、桜町、忍岡、芝商業、城東、新宿、新宿山吹、世田谷総合、竹台、つばさ総合、田園調布、戸山、晴海総合、日比谷、広尾、深沢、保谷、三田、美原、目黒、八潮、雪谷、六郷工科、六本木、産業技術高等専門学校、港特別支援学校、中央ろう学校 など

【私立高等学校】飛鳥未来さすな、大森学園、開成、科学技術学園、関東第一、慶應義塾、慶應義塾志木、慶應義塾女子、京華女子、佼成学園女子、国学院、国際基督教大学、駒澤大学、駒場学園、埼玉栄、栄東、品川エトワール女子、品川学芸、品川翔英、渋谷教育学園幕張、自由ヶ丘学園、十文字、昌平、城北、巣鴨、青稜、専修大学附属、大東学園、玉川学院、多摩大学目黒、中央大学、中央大学杉並、東亜学園、桐蔭学園、東海大学付属浦安、東海大学付属望星、東京、東京実業、東京農業大学第一、東洋女子、豊島学院、長野俊英、二松学舎大学附属、日本学園、日本体育大学荏原、日本大学豊丘、日本大学第二、羽田国際、富士見丘、文教大学付属、文星芸術大学付属、法政大学、法政大学国際、法政大学第二、朋優学院、明治学院、明治大学付属中野、目黒学院、目黒日本大学、屋久島おおぞら、八雲学園、安田学園、山梨学院、立教新座、立正大学付属立正、ルネサンス、早稲田佐賀、早稲田大学本庄、N高、S高、東京共育学園、八洲学園 など

保護者の皆様へ

品川区教育委員会
品川区立中学校長会
品川区立義務教育学校長会

通学における約束および注意事項

1 通学方法

- (1) 各校の始業時間、下校時間は異なりますので、各校の時刻表にあわせてください。
- (2) 交通経路は、徒歩またはバスもしくは電車を利用させてください。
自転車による通学は安全確保の面から禁止しております。

2 持ち物

- (1) 緊急時の連絡は、学校を通じて行いますので、携帯電話、スマートフォンなどは所持させないでください。
- (2) 不要な金銭も同様に、所持させないでください。

3 その他

各学校によって、生活指導上の注意事項がありますので、当該注意事項を遵守させてください。

品川区立中学校・義務教育学校（後期課程）通学区域

※ ○○学園は「義務教育学校」を表します。 青文字は通学区域の改正があった住所です。

1 東海中学校		5 富士見台中学校	
北品川	2丁目 (20番12号～17号) 2丁目 (30番1号～9号) 2丁目 (31番～33番) 2丁目 (34番1号、2号)	西大井	4丁目 (8番～25番) 5丁目 (全域) 6丁目 (全域)
東品川	1丁目 (30番～39番) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域)	豊町	6丁目 (25番～31番)
南品川	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 5丁目 (1番～12番) 6丁目 (全域)	二葉	3丁目 (1番～16番、22番～30番) 4丁目 (全域)
東八潮 八潮	(全域) 1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)	6 荏原第一中学校	
2 大崎中学校		上大崎	4丁目 (全域)
西品川	1丁目 (1番～24番、27番) 2丁目 (1番～8番) 2丁目 (9番4号、6号～14号) 2丁目 (10番～24番) 3丁目 (全域)	西五反田	3丁目 (6番、10番～16番) 4丁目 (全域) 5丁目 (1番、7番～14番、23番～29番)
大崎	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域)	小山台	1丁目 (全域) 2丁目 (全域)
西五反田	1丁目 (11番～23番) 8丁目 (4番～12番)	小山	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)
戸越	1丁目 (26番1号～4号、25号、26号) 1丁目 (27番1号～12号) 1丁目 (29番1号～10号、29号～35号) 1丁目 (31番)	荏原	1丁目 (1番7号～35号) 1丁目 (2番5号～15号) 1丁目 (3番、4番) 1丁目 (5番8号～19号) 1丁目 (6番5号～14号) 1丁目 (7番、8番) 1丁目 (9番5号～12号) 1丁目 (10番7号～13号) 1丁目 (11番、12番) 1丁目 (13番5号) 1丁目 (14番8号～12号) 1丁目 (19番、24番、25番)
3 浜川中学校		7 荏原第五中学校	
南品川	5丁目 (13番～16番)	旗の台	1丁目 (3番～5番、10番、11番) 2丁目 (1番、4番～13番) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (8番～12番、20番～33番)
東大井	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (全域)	中延	3丁目 (8番、9番、12番、13番) 4丁目 (1番、15番～17番) (2番～14番、18番～21番) 5丁目 (全域) 6丁目 (全域)
南大井	1丁目 (1番～17番) 4丁目 (1番～5番) (6番～13番) 5丁目 (1番～9番) (10番～15番)	東中延	2丁目 (7番～10番)
勝島	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)	8 荏原第六中学校	
4 鈴ヶ森中学校		小山	4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (全域) 7丁目 (全域)
南大井	1丁目 (18番～22番) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (14番～20番) 5丁目 (16番～27番) 6丁目 (全域)	荏原	5丁目 (全域) 6丁目 (全域) 7丁目 (全域)
(右へつづく)		旗の台	1丁目 (1番、2番、6番～9番) 6丁目 (1番～7番、13番～19番)
(右へつづく)		(右へつづく)	

9 戸越台中学校		13 荏原平塚学園	
荏原	1丁目 (15番～18番、20番～23番) 2丁目 (1番～3番、9番、18番)	荏原	2丁目 (4番～8番、10番～17番) 3丁目 (全域)
平塚	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)	中延	4丁目 (全域) 1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (1番～7番、10番、11番)
戸越	1丁目 (1番～18番) 2丁目 (1番～5番、6番23号～30号) 3丁目 (全域) 4丁目 (1番、2番) 4丁目 (3番1号～5号、19号～28号) 4丁目 (4番3号、4号、15号～24号) 4丁目 (5番～9番) 5丁目 (1番～7番、10番～17番) 5丁目 (18番1号～9号、14号～20号)	旗の台 東中延	2丁目 (2番、3番) 1丁目 (全域) 2丁目 (1番～6番)
10 日野学園		西中延	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)
上大崎	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域)	14 品川学園	
東五反田	1丁目 (全域) 2丁目 (1番～15番) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域)	北品川	1丁目 (全域) 2丁目 (1番～19番) 2丁目 (20番1号～11号、18号～25号) 2丁目 (21番～29番) 2丁目 (30番10号～28号) 2丁目 (34番3号～5号) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (全域)
西五反田	1丁目 (1番～10番、24番～33番) 2丁目 (全域) 3丁目 (1番～5番、7番～9番) 5丁目 (2番～6番、15番～22番、30番～32番) 6丁目 (全域) 7丁目 (全域) 8丁目 (1番～3番)	東品川	1丁目 (1番～29番) 2丁目 (全域)
荏原	1丁目 (1番2号、3号) 1丁目 (2番1号～4号、16号、17号) 1丁目 (5番1号～7号、20号) 1丁目 (6番1号～4号、15号) 1丁目 (9番1号～4号、13号、14号) 1丁目 (10番1号～6号、14号) 1丁目 (13番1号～4号) 1丁目 (14番1号～7号、13号～15号)	南品川	4丁目 (全域)
11 伊藤学園		広町	1丁目 (全域)
広町	2丁目 (全域)	東五反田	2丁目 (16番～22番)
大井	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (全域) 7丁目 (全域)	15 豊葉の杜学園	
西大井	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (1番～7番)	西品川	1丁目 (25番、26番、28番～30番) 2丁目 (9番1号、15号～17号、19号、21号、22号)
12 八潮学園		豊町	1丁目 (1番～10番、13番) (11番、12番、14番～18番) 2丁目 (全域) 3丁目 (全域) 4丁目 (全域) 5丁目 (全域) 6丁目 (1番～24番)
八潮	4丁目 (全域) 5丁目 (全域)	二葉	1丁目 (全域) 2丁目 (全域) 3丁目 (17番～21番) 1丁目 (19番～25番) 1丁目 (26番5号～24号) 1丁目 (27番13号～30号) 1丁目 (28番、29番11号～28号) 1丁目 (30番) 2丁目 (6番1号～22号、31号、32号～39号) 2丁目 (7番～9番) 4丁目 (3番6号～18号) 4丁目 (4番5号～14号) 4丁目 (10番、11番) 5丁目 (8番、9番1号～6号) 5丁目 (9番7号～14号) 5丁目 (9番15号～18号) 5丁目 (18番10号～13号) 5丁目 (19番、20番) 6丁目 (全域)
(右へつづく)		戸越	

指定校変更許可基準

基準番号	許可基準	添付書類	留意事項
1	指定校への通学が、距離・時間・通学上の安全確保などの観点から支障があると認められる場合		
2	おおむね 1 年以内に品川区内で転居が確定していて、あらかじめ転居先の指定校に通学させることが望ましいと判断される場合	・ 転居先住所の記載された売買契約書、賃貸借契約書など	
3	保護者の就労などの理由により下校時または登校前にやむを得ず児童を近親者などに預けざるを得ない場合 (1～6年生に限る)	・ 近親者などの預かり同意書、保護者の就労、営業など状況を確認できるもの ・ 親族関係が証明できる証明書 (戸籍、住民票など)	近親者などとは親族関係があるものに限る。
4	慢性疾患などで長期間・定期的に通院治療を必要とし、かつ、診療時間の関係により、病院の最寄りの学校へ通学する必要があると認められる場合	・ 診察券、診断書など	自宅、学校および病院の距離・地理関係について確認が必要
5	その他教育委員会が特に必要と認めた場合	状況に応じて適宜提出	客観的判断による。

※必要に応じて上記以外の書類を提出していただく場合があります。

※学校の状況によっては、希望校への受入れができない場合があります。

問合せ先一覧

内 容		担 当	電 話	F A X
入学の手続きについて		学務課 学事係 (第二庁舎 7 階)	5742-6828	5742-0180
学校の給食について		学務課 保健給食係 (第二庁舎 7 階)	5742-6829	5742-0180
品川区の教育 について	小中一貫教育、 英語教育など	指導課 指導主事 (第二庁舎 7 階)	5742-6595	5742-6892
	市民科など	教育総合支援センター 指導主事 (西五反田 6-5-1 4 階)	5740-8200	3490-2007
発達に不安のあるお子さんの 就学について		教育総合支援センター 特別支援教育担当 (西五反田 6-5-1 4 階)	5740-8202	3490-2007
品川区ホームページアドレス		https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/		

令和7年度 新入学生徒用 品川区立中学校・義務教育学校 学校案内

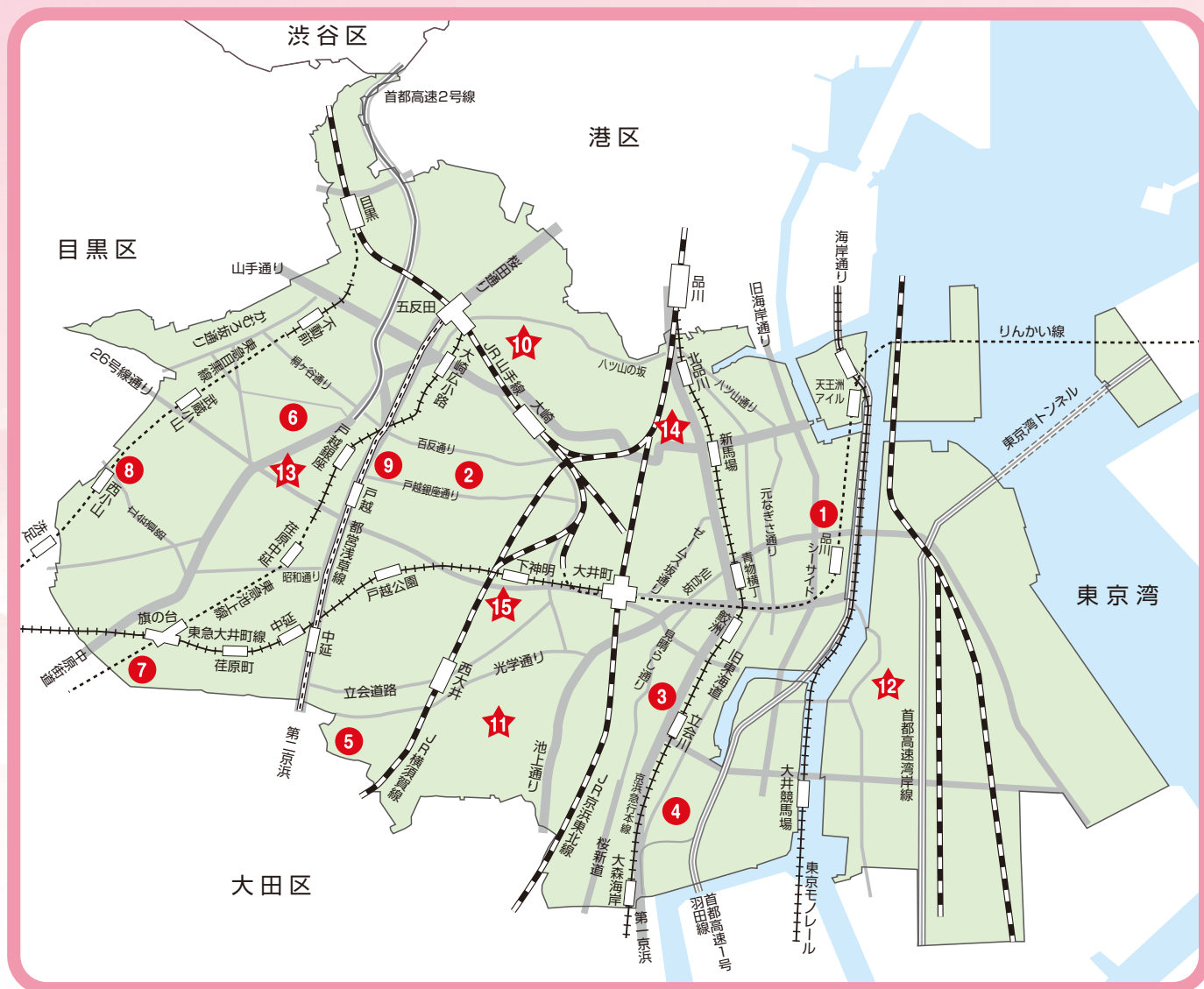
中学校・義務教育学校案内パンフレット

編集 品川区教育委員会事務局

学務課 受付時間 午前 8 時半～午後 5 時 15 分 (土曜日・日曜日・祝日を除く。)

〒 140-8715 品川区広町 2 丁目 1 番 36 号 防災センター・第二庁舎 7 階

TEL 03 (5742) 6828 FAX 03 (5742) 0180



- | | |
|-----------|------------|
| ① 東海中学校 | ★10 日野学園 |
| ② 大崎中学校 | ★11 伊藤学園 |
| ③ 浜川中学校 | ★12 八潮学園 |
| ④ 鈴ヶ森中学校 | ★13 荏原平塚学園 |
| ⑤ 富士見台中学校 | ★14 品川学園 |
| ⑥ 荏原第一中学校 | ★15 豊葉の杜学園 |
| ⑦ 荏原第五中学校 | |
| ⑧ 荏原第六中学校 | |
| ⑨ 戸越台中学校 | |

※ ★は義務教育学校を表しています。